

〈別表 2〉

令和 9 年度三重県立高等学校入学選抜で前期選抜を実施する高等学校の
「学校の特色」「選抜において重視する要件」「検査内容」「選抜方法」一覧

全日制課程

《桑名高等学校》

学 校 の 特 色
本校は、普通科・理数科・衛生看護科があり、生徒数 1 0 0 0 人余の県立高校として最大規模の学校です。文部科学省指定の「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」は第Ⅱ期目を迎え、課題探究力を育む学習活動の充実を図っています。 普通科・理数科は、入学する生徒のほぼ全員が大学への進学を希望しています。創立 1 1 0 年を超えた伝統的な進学校として、学習指導と進路指導を中心に進学体制を充実させ、国公立大学や難関私立大学への進路希望を実現しています。 衛生看護科は、県内唯一の学科として心身ともに健全で優れた看護サービスを提供できる人間性豊かな看護師の養成を目指し 5 年一貫教育を行っており、SSH 活動の一環としての発表会や理数科生徒との交流などを通して未来の先駆者としての人材を育成しています。衛生看護科の 3 年間と衛生看護専攻科の 2 年間の学習を終え、毎年 2 月に実施される看護師国家試験に合格して看護師の資格を取得します。学習内容は普通教科と看護の専門教科があり、専門教科は医師や薬剤師、臨床検査技師など外部講師による授業があります。また、長期間にわたって実践的な学習を行う臨地実習もあります。 学校全体として、部活動も盛んであり、文武両道を目指し、毎年多くの運動系・文化系の部活動が東海大会や全国大会に出場し活躍しています。

選抜において重視する要件
（衛生看護科） ○ 看護師志望が明確で、高校生活にしっかりとした目標・目的意識をもった者 ○ 全ての教科に対して真面目に学習活動に取り組める者 ○ 部活動や生徒会活動またはボランティア活動等に積極的に取り組める者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
衛生看護科	面 接	集団面接（1 グループ 1 5 分程度） コミュニケーション能力など看護師としての適性や意欲について応答する。
	小 論 文	4 5 分・4 0 0 字程度 自分の考えを述べる問題
	学力検査	数学、英語

学 科 名	選 抜 方 法
衛生看護科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。（第 3 学年の各教科の評定の合計 4 5 点満点） (2) 面 接 A、B、C の 3 段階で評価する。 (3) 小 論 文 点数化する。（1 0 点満点） (4) 学力検査 1 0 0 点（数学 5 0 点、英語 5 0 点）
	2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第 1 段階 調査書得点の順位が募集人数のおよそ 1 0 0 % 以内であることと、学力検査得点と小論文得点の合計の順位が募集人数のおよそ 8 0 % 以内であることの両方の条件を満たす者のうち、面接の評価が B 段階以上である者 (2) 第 2 段階 第 1 段階において合格となった者を除く全ての受検者

《桑名北高等学校》

学 校 の 特 色
本校では、次の二つの特色を生かして生徒と『共に創る』学校づくりに挑戦し続けています。一つ目は、「生徒一人ひとりの進路実現を目指す学校」であることです。外部テストも利用した学習実態調査や補習の実施により、中学校までの学習でつまずいた所やわからない所の学び直しなど、基礎・基本の定着を図ります。また、日々の授業において「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、生徒が能動的・積極的に学べる授業づくりに取り組みます。そして、それらを土台とした進学補習やテスト前学習会を実施することにより、個々の生徒の進路実現を全力で支援していきます。 二つ目は、「人と人とのつながりの大切さを学ぶ学校」であることです。総合的な探究の時間（みらい）では自己理解・他者理解、人間関係をつくる力の育成をねらいとした学習内容により、自分の在り方・生き方についてじっくり考え気付かせていきます。また、学校設定科目「コミュニケーション授業」では保育所の園児との交流を通して、自分が必要とされる喜びを体感させるとともに、コミュニケーション能力の育成を目指しています。 これらの活動を通じて、校訓である「自律・誠実・協働」の心を持った生徒の育成に努めます。育成を目指す資質・能力としての「7つの力」（①聴く力②話す力③書く力④読み取る力⑤考える力⑥前に踏み出す力⑦協働する力）を育てます。 また、令和9年度から入学定員の一部にフレキシブルクラスを設けます。フレキシブルクラスでは、全日制課程に在籍しながら、連携する北星高等学校の通信制の授業も履修できる柔軟な学習スタイルにより、学ぶことができます。

選抜において重視する要件
（普通科） 規範意識や基本的生活習慣が身についており、以下のことに熱意をもって取り組める者 ○ 大学進学など、明確な進路意識をもって学業に取り組める者 ○ 部活動や生徒会活動またはボランティア活動等に積極的に取り組める者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	面 接	個人面接（10分程度） 規範意識や高校生活への意欲等について応答する。
	作 文	45分・400～600字

学 科 名	選 抜 方 法
普 通 科	1 選抜資料の取扱い
	(1) 調 査 書 点数化する。
	評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）
	評定以外の記載事項
	最高
	25点
	合 計
	100点
	(2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。
	(3) 作 文 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。
2 選抜方法	
(1)調査書得点(2)面接及び(3)作文の評価並びに調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。	

《桑名工業高等学校》

学 校 の 特 色
○ 「地域と歩むものづくり」をもとに、本校独自のキャリア教育から人間性豊かな専門的職業人を目指し、積極的に行動できる人材の育成に努めます。 ○ 本校では「桑名版デュアルシステム」を学習内容に取り入れ、企業と協力しキャリア教育を充実させ適性に応じた進路実現に取り組んでいます。 ○ ものづくりを通じ地域社会での発展を担う職業人として、豊かな人間性を育み、生涯の見通しをもって創造的に探究できる学習活動の充実を図ります。 ○ 桑名工業三原則（あいさつ・身だしなみ・きれいな学校）の中で基本的生活習慣の確立と倫理観・道徳観を身につけさせコミュニケーション豊かな人間教育に取り組んでいます。

選抜において重視する要件
〔機械科、材料技術科、電気科、電子科共通〕 ○ ものづくりに興味を持ち、常に挑戦心を忘れず地域産業の活性化を担う人間性豊かな専門的職業人をめざそうと考えている者 ○ 高度な技術を身につけるため大学への進学をめざそうと考えている者 ○ 活気あふれる学校生活をめざし、部活動や生徒会活動、ボランティア活動または資格検定試験などに積極的に取り組みたいと考えている者 ○ 協調性を持ちコミュニケーション豊かな人間教育に取り組みたいと考えている者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
機 械 科 材 料 技 術 科 電 気 科 電 子 科	面 接	集団面接（２０分程度） 志望動機、本校への関心・意欲、将来の目標等について応答する。
	学力検査	数学

学 科 名	選 抜 方 法						
機 械 科 材 料 技 術 科 電 気 科 電 子 科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。 <table> <tr> <td>評定（第３学年の各教科の評定の合計）</td> <td>45点満点</td> </tr> <tr> <td>評定以外の記載事項</td> <td>最高 20点</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>65点</td> </tr> </table> (2) 面 接 次の５つの項目について点数化し（25点満点）、A、B、Cの３段階で評価する。 ・ 本校を志望する動機 ・ 自分自身についての理解 ・ 高校生活への抱負 ・ 表現力 ・ コミュニケーション力・協調性 (3) 学力検査 数学（50点満点）の得点をA、B、C、Dの４段階で評価する。 2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第１段階 調査書得点の順位が募集人数60％以内であることと、面接及び学力検査の評価がともにB段階以上であることの両方の条件を満たす者 (2) 第２段階 調査書得点の順位が募集人数80％以内であることと、学力検査の評価がC段階以上であることの両方の条件を満たす者 (3) 第３段階 第１段階及び第２段階において合格となった者を除く全ての受検者	評定（第３学年の各教科の評定の合計）	45点満点	評定以外の記載事項	最高 20点	合 計	65点
評定（第３学年の各教科の評定の合計）	45点満点						
評定以外の記載事項	最高 20点						
合 計	65点						

《いなべ総合学園高等学校》

学 校 の 特 色
○ 本校は全国でも有数の大規模総合学科高等学校として、平成１３年度に開校しました。北勢地区唯一の総合学科として、生徒の多様な進路希望が実現できるよう１５０余りの講座を開設しています。 ○ 総合学科特有の授業等を通じて生徒一人ひとりが自分の進路を選択し、進路希望に合わせて科目を選択できるようチューター（中学校での担任のような存在）によるきめ細かな指導を行っています。また、社会人講師による講演や実習などによるキャリア教育の充実、地元の大学との連携による進学指導の充実にも力を入れています。 ○ 本校生徒の進路先は、大学・短大がおよそ４０％、専門・各種学校がおよそ３０％、就職がおよそ３０％で、特色ある学びのシステムにより幅広い進路実現を可能にしています。 ○ 部活動もとても盛んで、充実した施設設備を活用して多数の運動系部活動が全国大会、東海大会、県大会等に出場し、好成績を残しています。文化系部活動も地域に貢献する活動を積極的に行うなど、明るく生き生きとした学校の雰囲気を作り出しています。 ○ いなべ・東員地区唯一の高等学校として、地域に根ざし開かれた信頼される学校を目指しています。

選抜において重視する要件
（総合学科） 〔総合的観点〕 ◎ 基本的な生活習慣が身についており、本校で実施するカリキュラム・学習内容・部活動等教育活動全般に対して強い興味・関心をもつ者で、かつ入学後、意欲的に学校生活を送る意志のある者 〔個別観点〕 次のいずれかに該当する者 『学習について』 ○ 国語・社会・数学・理科・英語・芸術・体育等の各教科に関わって、優れた資質を持ち、得意分野の中から入学後も学習活動に意欲的である者 ○ 全ての教科に対して真面目に学習活動に取り組める者 『部活動等について』 ○ スポーツ・文化活動等で優れた実績や能力があり、入学後もその活動を継続して行う意志のある者 ○ 個々の部活動において、意欲的に活動する意志のある者 『学校生活について』 ○ 生徒会活動・学級活動で実績のある者 ○ ボランティア活動・人権活動に積極的に取り組める者 『進路について』 ○ 将来、地域社会に根差し、地域の一員として社会貢献をする意欲のある者 ○ 自分の夢の実現に向け、向上心を持って専門性を高めようと努力する者 ○ 四年制大学に進学を希望し、意欲的に学習に取り組める者

《いなべ総合学園高等学校》

学 科 名	検 査		実 施 概 要	
	※Ⅰ～Ⅲのいずれかを事前に選択する。			
総合学科	Ⅰ	面 接	集団面接（１グループ２０分程度） 総合学科での学習に対する興味・関心や意欲、進路に関する目的意識等について応答する。	
		作 文	４５分・６００～８００字	
	Ⅱ	次のいずれか １つを事前に 選択する。	学力検査	国語、英語
			学力検査	数学、英語
	Ⅲ	面 接	集団面接（１グループ２０分程度） 総合学科での学習に対する興味・関心や意欲、進路に関する目的意識等について応答する。	
		次のいずれか １つを事前に 選択する。	実技検査 芸術 （美術）	検査時間：１２０分（休憩を含む） 内容：静物デッサン、デッサンについての感想文（１０分） 持参用具：鉛筆、消しゴム（練り消しゴム可） ※高等学校で用意するもの：用紙（Ｂ３Ｍ画用紙ボード）
			実技検査 芸術 （書道）	検査時間：１２０分（休憩を含む） 内容：実技〔毛筆（半紙）・硬筆〕、実技作品についての感想文（１０分） 持参用具：太筆、細筆、墨汁（固形墨可）、硯、鉛筆、消しゴム、練習用半紙、文鎮 ※高等学校で用意するもの：下敷き、清書用紙
			実技検査 体育	１ 共通検査 ２５ｍ往復走、反復横跳び、立ち幅跳び、長座体前屈を全ての志願者に課す。 ２ 選択種目検査 ① 次の種目から、志願者が事前に選択した１種目とする。 陸上競技（１００ｍ走、８００ｍ走、砲丸投げ、走り高跳び、走り幅跳び）・サッカー・バスケットボール・バレーボール・卓球・ソフトボール・器械運動（マット運動）・剣道・レスリング・ゴルフ・ハンドボール・ソフトテニス ※陸上競技は、（ ）内の５種目から１種目を選択する。 ② 内容は、基本的な技能・技術・動作を中心とする。

《いなべ総合学園高等学校》

学 科 名	選 抜 方 法
総合学科	I
	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。 評定（第3学年の各教科の評定の合計を2倍） 学級活動・生徒会活動、取得資格、 スポーツ・文化・地域活動の実績 90点満点 最高 10点 合 計 100点
	(2) 面 接 A、B、C、Dの4段階で評価し、点数化する。（10点満点） (3) 作 文 A、B、C、Dの4段階で評価し、点数化する。（10点満点）
	2 選抜方法 (1)～(3)の合計点数をもとに、面接及び作文の評価、調査書、「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。
	II
	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。 ① 評定（第3学年の各教科の評定の合計） ② 学級活動・生徒会活動、取得資格、 スポーツ・文化・地域活動の実績 45点満点 最高10点 100点
	(2) 学力検査 国語、英語または数学、英語（各教科50点） 2 選抜方法 (1)①の評定得点と(1)②、(2)の合計点数の2つをもとに、調査書、「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。
	III
	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。 ① 評定（第3学年の各教科の評定の合計） ② 学級活動・生徒会活動、取得資格、 スポーツ・文化・地域活動の実績 45点満点 最高10点
	(2) 面 接 A、B、C、Dの4段階で評価し、点数化する。（10点満点） (3) 実技検査 90点 2 選抜方法 (1)①の評定得点と(1)②、(2)、(3)の合計点数の2つをもとに、面接の評価、調査書、「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《四日市西高等学校》

学 校 の 特 色
○ 生徒一人ひとりが西高の「顔」として、誇りと自信をもった高校生として生活できるよう、特に、正しく制服が着用できる指導、頭髮指導、挨拶運動、遅刻防止指導に力を入れています。 ○ 家庭学習を定着させるため、英・数・国の課題を毎週決まった曜日に提出します。課題未提出者には「居残り学習」を行います。ルールを守って全員が提出することを目指しています。地道に課題に取り組むことで生徒一人ひとりの学力が目に見える形で向上するように取り組んでいます。 ○ 50分の授業を大切にするため、授業開始の2分前の予鈴で教室に入り、チャイムとともに授業を開始しています。比較文化・歴史、数理情報の2コースは週1回の7限目授業を実施しています。 ○ 生徒の進路希望実現のため、1学年より模試を受け、また進路面談に力を注ぎ、系統だったキャリア教育を実践しています。その結果として、国公立大学、難関私立大学に合格者を出しています。 ○ 恵まれた施設・設備を生かした部活動は活発です。それぞれの部で目指す目標は異なりますが、部活動と学習を両立させて進路自己実現を果たした生徒は増加しています。充実した3年間を過ごすためにも、部活動を学校を挙げて奨励しています。 ○ 後期選抜において、比較文化・歴史、数理情報の2コースは、くくり募集とします。

選抜において重視する要件
[普通科・比較文化・歴史コース、普通科・数理情報コース共通] ○ 国公立大学、難関私立大学への進路を希望し、意欲的・継続的に学業に取り組める者

学科・コース名	検 査	実 施 概 要
普通科・比較文化・歴史コース	学力検査	国語、英語
普通科・数理情報コース	学力検査	数学、英語

学科・コース名	選 抜 方 法
普通科・比較文化・歴史コース	1 選抜資料の取扱い (1) 調査書 点数化する。(第3学年の国語・社会・数学・理科・英語の評定の合計 25点満点) (2) 学力検査 100点 (国語50点、英語50点)
	2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の150%以内であることと、学力検査得点の順位が募集人数のおよそ70%以内であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 第1段階において合格となった者を除く全ての受検者
普通科・数理情報コース	1 選抜資料の取扱い (1) 調査書 点数化する。(第3学年の国語・社会・数学・理科・英語の評定の合計 25点満点) (2) 学力検査 250点 (数学50点を3倍、英語50点を2倍する。)
	2 選抜方法 比較文化・歴史コースと同じ。

《朝明高等学校》

学 校 の 特 色
朝明高等学校は、昭和53年に創立され、今年で48年目を迎える高校です。春には「千本桜」が満開になり、秋には校舎の周りの木々が見事に紅葉し、冬には雪の鈴鹿山脈がとてもきれいに見える、豊かな自然環境に恵まれたところにあります。 普通科は、2年次よりアスリートコースの他、進学や就職に対応する選択ができます。アスリートコースの生徒は、自転車競技部・レスリング部・ラグビー部に所属し、全国大会に出場するなど、活躍しています。また、他の選択として、進学に対応できる学力を身に着けることを目指すものや、就職に対応するための基礎的な学力を定着させるとともに、就職に対応できるビジネス文書検定や簿記実務検定などの資格取得を目標にし、社会人基礎力を身につけることを目指しています。 ふくし科は、2年次より2つのコースに分かれます。一つは、介護福祉士の国家試験を受験し資格取得を目指す介護福祉コース。もう一つは、幅広く福祉について学ぶ生涯福祉コースです。 本校では、「社会に貢献できる人間―自分づくりの三年間―」をテーマとして、生徒が良好な人間関係を作りながら成長する学校となるように取り組んでいます。

選抜において重視する要件
(普通科) ○ 基本的生活習慣が身についており、積極的に学ぶ意欲のある者 ○ スポーツ・文化活動等を継続して行う意欲のある者 (ふくし科) ○ 福祉やボランティア活動に興味・関心を有する者 ○ 基本的生活習慣が身についており、積極的に学ぶ意欲のある者 ○ スポーツ・文化活動等を継続して行う意欲のある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科 ふ く し 科	面 接	個人面接（10分程度） 志望動機、学習活動、特技、将来の目標、自己アピール等について応答する。
	学力検査	国語

学 科 名	選 抜 方 法
普 通 科 ふ く し 科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。（第3学年の各教科の評定の合計 45点満点） (2) 面 接 A、B、C、Dの4段階で評価する。 (3) 学力検査 国語の得点をA、B、C、D、Eの5段階で評価する。
	2 選抜方法 学力検査及び面接の結果と調査書をもとに、「自己推薦書」の記載事項を考慮し、総合的に選抜する。

《四日市四郷高等学校》

学 校 の 特 色
本校は、各学年に普通科と普通科・スポーツ科学コースを設置し、文化・スポーツ活動を通じ、自己実現に向かって努力する生徒、生涯にわたって学び続けることのできる生徒、互いの違いを認め合う心豊かな生徒の育成を目指しています。 生徒には部活動を奨励しており、多くの運動部や文化部が全国大会・東海大会等に出場するなど活躍しています。また、平成10年度から実施している「朝の読書」の取組も本校の特色の一つで、一日の生活を落ち着いた環境で始めることができるとともに、読書が好きになった、集中力がついた等、読書の大切さや良さが実感できる活動として定着しています。 学校生活においては、基本的な生活習慣の確立や規範意識の醸成（じょうせい）のため、マナーやルールを守る生徒の育成や服装頭髪指導、遅刻指導、あいさつの励行、授業規律の確立に全校で力を入れて取り組んでいます。また、基礎学力の定着と向上を目指し、学び直しや少人数による習熟度別学習、各教科の補習や課外授業などの学習活動が充実しています。 進路面では、進学・就職両面の多様な進路希望に応えられるよう、進路説明会の充実や個別の面談を重視した、きめ細かな進路指導を進め、成果を上げています。 ○ 普通科 2学年から生徒の興味・関心、意欲や進路希望等に基づき、多様な進路選択ができるよう、芸術コース・アドバンスコース（文系・理系）という特色あるコースに分かれて学習します。 ○ 普通科・スポーツ科学コース スポーツ活動を通じた人づくりを目指します。多くの体育実技やスポーツ概論の授業があり、また、1年では水泳、2年ではゴルフ、3年ではスノーボードの体験実習を実施しています。 生徒たちの多くは各運動部の中心選手として活躍しています。

選抜において重視する要件
〔普通科、普通科・スポーツ科学コース共通〕 ○ 学習活動をはじめ、部活動または特別活動等に強い関心を持ち、意欲的に学校生活を送る意志のある者 ○ 将来、地域社会の一員として社会貢献する意欲のある者 ○ 明確な進路意識を持ち、その実現に向けて向上心をもって努力する者 （普通科） ○ 各教科に対する優れた資質を持ち、入学後も学習活動に意欲的に取り組める者 ○ 芸術活動（音楽・美術・書道）に強い意欲・関心をもつ者 ○ 生徒会活動または部活動等に意欲的に取り組む強い意志をもつ者 （普通科・スポーツ科学コース） ○ 体育・スポーツ活動に強い興味・関心をもつ者 ○ 体育・スポーツに関する専門性を高める意志を持ち、運動部活動などに継続的、意欲的に取り組める者

学科・コース名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	面 接	集団面接（20分程度） 「自己推薦書」の内容、学習活動、芸術活動、生徒会活動、部活動等への興味・関心・意欲、入学後の目標等について応答する。
	学力検査	国語
普通科・スポーツ科学コース	面 接	集団面接（20分程度） 「自己推薦書」の内容、スポーツ活動への興味・関心・意欲、入学後の目標等について応答する。
	実技検査	基本的な運動： 50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げを全員が受検する。 選択種目： 次の8種目の中から受検者が事前に選択した1種目を受検する。 内容は、基本的な技能・技術、動作を中心とする。 バスケットボール・ソフトボール・ハンドボール・テニス・サッカー・バレーボール・レスリング・陸上競技（100m走、800m走、走り幅跳び、砲丸投げの中から一つを選択する。） （注）陸上競技は、天候によっては一部の種目を変更することがある。 100m走→25m2往復走 800m走→シャトルラン 走り幅跳び→立ち三段跳び

《四日市四郷高等学校》

学科・ コース名	選 抜 方 法						
普 通 科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: right;">評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）</td> <td style="text-align: right;">90点満点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">学級活動・生徒会活動、スポーツ・ 文化活動の実績、取得資格</td> <td style="text-align: right;">最高 30点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">120点</td> </tr> </table> (2) 面 接 次の3つの項目について評価し、点数化する。（30点満点） ・ 学習活動や進路に対する目的意識 ・ 部活動や特別活動に対する興味・関心、意欲 ・ 面接態度 (3) 学力検査 国語（50点満点） 2 選抜方法 (1)～(3)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。	評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	90点満点	学級活動・生徒会活動、スポーツ・ 文化活動の実績、取得資格	最高 30点	合 計	120点
評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	90点満点						
学級活動・生徒会活動、スポーツ・ 文化活動の実績、取得資格	最高 30点						
合 計	120点						
普通科・ スポーツ科学 コース	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: right;">評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）</td> <td style="text-align: right;">90点満点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">学級活動・生徒会活動、スポーツ活動の実績</td> <td style="text-align: right;">最高 50点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">140点</td> </tr> </table> (2) 面 接 次の3つの項目について評価し、点数化する。（30点満点） ・ 学習活動や進路に対する目的意識 ・ 部活動やスポーツに対する興味・関心、意欲 ・ 面接態度 (3) 実技検査 100点 2 選抜方法 (1)～(3)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。	評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	90点満点	学級活動・生徒会活動、スポーツ活動の実績	最高 50点	合 計	140点
評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	90点満点						
学級活動・生徒会活動、スポーツ活動の実績	最高 50点						
合 計	140点						

《四日市工業高等学校》

学 校 の 特 色
○ 本校には、物質工学科、機械科、電子機械科、電気科、電子工学科、建築科、自動車科の7学科があり、各学科の3学年では、進学希望者に対応するため、専門科目に替えて普通教科・科目の選択もできます。 ○ 「技術と精神（こころ）」を校訓に、工業各分野の知識・技術を習得し、地域社会に貢献できる技術者を育成します。 ○ ものづくりや各種職業資格の取得ができるよう積極的に取り組みます。 ○ 勉学・礼儀・責任・勤労の調和のとれた教育を推進するとともに、部活動を奨励し、学校行事を充実させ、心豊かな人間を育成します。 ○ スポーツ等を通して心身を鍛え、全国高等学校総合体育大会への出場等スポーツ振興に取り組んでいます。

選抜において重視する要件
〔物質工学科、機械科、電子機械科、電気科、電子工学科、建築科、自動車科共通〕 ○ 芸術・文化活動や生徒会活動、ボランティア活動または人権活動等で活躍し、高校生活においても活動する意欲があり、工業に関する学科に興味・関心のある者 ○ スポーツ等においてすぐれた実績があり、入学後も継続して活動する意志のある者。また、工業に関する学科に興味・関心がある者 （物質工学科） ○ 物質工学（化学的技術・陶磁器技術）に強い興味・関心があり、資格取得に積極的に取り組むとともに、産業分野への進路を強く希望する者 （機械科） ○ 数学や理科が得意で、機械に強い興味・関心があり、資格取得に積極的に取り組むとともに、産業分野への進路を強く希望する者 （電子機械科） ○ 電子機械（ロボット技術・各種自動制御・情報技術等）に強い興味・関心があり、資格取得に積極的に取り組むとともに、産業分野への進路を強く希望する者 （電気科） ○ 数学や理科が得意で、電気に強い興味・関心があり、学習に対して粘り強く努力でき、資格取得に積極的に取り組むとともに、産業分野への進路を強く希望する者 （電子工学科） ○ 数学や理科が得意で、その知識を応用し伸ばそうとする意欲があり、電子工学に興味・関心がある者。また、産業分野への進路を強く希望する者 （建築科） ○ 建築に興味・関心があり、各教科に対して真面目に学習でき、ものづくり・資格取得に積極的に取り組むとともに、産業分野への進路を強く希望する者 （自動車科） ○ 自動車（構造・整備）に関する興味・関心が強く、その技術の習得や資格取得に熱心に取り組むとともに、産業分野への進路を強く希望する者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
物質工学科 機 械 科 電子機械科 電 気 科	面 接	個人面接（6～7分） 志願学科への興味・関心・意欲、目的意識等について応答する。
電子工学科 建 築 科 自 動 車 科	学力検査	数学

《四日市工業高等学校》

学 科 名	選 抜 方 法						
物質工学科 機 械 科 電子機械科 電 気 科 電子工学科 建 築 科 自 動 車 科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。 <table> <tr> <td>評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）</td> <td>90点満点</td> </tr> <tr> <td>評定以外の記載事項</td> <td>最高 20点</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>110点</td> </tr> </table> (2) 面 接 A、B、Cの3段階で評価する。 (3) 学力検査 数学（50点満点）の得点をA、B、C、Dの4段階で評価する。 2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の60%以内であること、面接及び学力検査の評価がともにB段階以上であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 調査書得点の順位が募集人数の80%以内であること、学力検査の評価がC段階以上であることの両方の条件を満たす者 (3) 第3段階 第1段階及び第2段階において合格となった者を除く全ての受検者	評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	90点満点	評定以外の記載事項	最高 20点	合 計	110点
評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	90点満点						
評定以外の記載事項	最高 20点						
合 計	110点						

《四日市中央工業高等学校》

学 校 の 特 色	
昭和37年に創立された工業高校で、機械科・電気科・化学工学科・都市工学科・設備システム科の5学科を有しています。「四中工はあなたの能力を伸ばします。」を合言葉に、全教職員が一丸となって次のことに取り組んでいます。	
○	豊かな人間性を備えた工業技術者の育成を目指し、資格取得や専門教育の充実に積極的に取り組んでいます。
○	進路は、就職者が約7割で、その多くが製造関係の仕事についています。希望者に対し10倍以上の求人があります。残りの約3割の進学者は、工学部に進む人や、引き続きスポーツを行うため文系の学部に進む人がいます。卒業生との懇談会・企業セミナー・インターンシップなど様々なキャリア教育を行っています。
○	運動部活動が盛んで、サッカー部・ウエイトリフティング部・水球部（本年度3つの部活動が三重県高等学校運動部強化指定事業で「強化指定運動部」として指定）や柔道部などが東海大会や全国大会で活躍しています。
○	工業高校の特徴である技術系部活動では、ロボット研究部が全国大会で活躍するなどの実績を残しています。

選抜において重視する要件
〔機械科、電気科、化学工学科、都市工学科、設備システム科共通〕
○ 工業学科への志望動機が明確であり、将来の進路に対する目標や目的意識をもっている者
○ 工業学科の学習に興味・関心があり、資格取得等に意欲的に取り組める者
○ 部活動またはホームルーム活動等に積極的に取り組める者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
機 械 科 電 気 科 化学工学科 都市工学科 設備システム科	面 接	個人面接（7分程度） 志願学科に対する志望動機、目的意識、関心・意欲、将来の進路の目標等について応答する。
	作 文	45分・400字程度

学 科 名	選 抜 方 法						
機 械 科 電 気 科 化学工学科 都市工学科 設備システム科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。 <table border="1"> <tr> <td>評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）</td> <td>45点満点</td> </tr> <tr> <td>評定以外の記載事項</td> <td>最高 20点</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>65点</td> </tr> </table> (2) 面 接 A、B、Cの3段階で評価する。（25点満点） (3) 作 文 A、B、Cの3段階で評価する。（10点満点） 2 選抜方法 (1)～(3)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。	評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	45点満点	評定以外の記載事項	最高 20点	合 計	65点
評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	45点満点						
評定以外の記載事項	最高 20点						
合 計	65点						

《四日市商業高等学校》

学 校 の 特 色	
○	商業に関する専門高校です。 本校は創立130周年を迎え、県内はもちろん全国的にも、歴史と伝統を誇る商業高校です。
○	校訓は「至誠」です。 校訓「至誠」の精神をもとに、商業教育を通じて、知・徳・体・心の健全な成長を促し、礼儀を重んじ、誠実を旨とする地域に必要とされる人材の育成に努めます。商業高校として、高校または大学卒業後の実社会で役立つよう、挨拶と礼儀を重視しています。
○	就職に強く、進学にも有利なのが本校の強みです。 資格の取得等に積極的に取り組みます。その結果として、抜群の就職実績だけでなく、商業高校の強みを生かした大学への進学実績にも注目してください。
○	学科は「商業科」と「情報マネジメント科」があります。 商業科は、商業に関して広く学習する学科です。2学年からは興味・関心、資格取得に応じて3つのコース（会計ビジネス・情報ビジネス・流通ビジネス）を用意しています。 情報マネジメント科は、1学年で情報処理分野と会計分野をバランス良く学習したうえで、2学年からは個々の適性や資格取得への希望等に応じ、情報処理分野の力をさらに伸ばす情報システムコース、会計分野の力をさらに伸ばす情報マネジメントコースを用意して、希望進路の実現を図ります。
○	勉強と部活動の両立を目指します。 部活動は運動部が13、文化部が16あり、大変盛んに活動しています。運動部は3つの部が三重県の強化指定を受けるなど高い評価を受けています。また商業高校独自の部もあり、各種商業実務競技大会での輝かしい実績を誇っています。東海大会や全国大会に出場する部は、運動部・文化部ともに多く、ほとんどの生徒が部活動に参加し、充実した学校生活を過ごしています。

選抜において重視する要件	
〔商業科、情報マネジメント科共通〕	
○	商業の学習に興味・関心をもち、資格取得などに意欲的に取り組める者
○	スポーツ・文化活動または生徒会活動等で優れた資質を有し、入学後もその活動を継続的・意欲的に取り組む意志のある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
商 業 科 情報マネジ メント科	面 接	個人面接（5分程度） 志望動機、部活動、中学校での生活の様子等について応答する。
	作 文	45分・400～500字

学 科 名	選 抜 方 法
商 業 科 情報マネジ メント科	1 選抜資料の取扱い
	(1) 調 査 書 点数化する。
	評定（第 1 ～ 3 学年の各教科の評定を換算）
	調査書における評定以外の記載事項
	9 0 点満点
	最高 2 0 点
	合 計
	1 1 0 点
	(2) 面 接 A、B、C の 3 段階で評価し点数化する。
	(3) 作 文 A、B、C の 3 段階で評価し点数化する。
2 選抜方法	
次の各段階に該当する受検者について順に、調査書、面接・作文の評価及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。	
(1) 第 1 段階 「1 選抜資料の取扱い」(1) から (3) の合計点の順位が募集人数のおよそ 6 0 % 以内である者	
(2) 第 2 段階 第 1 段階で合格となった者を除く全ての受検者について、「選抜において重視する要件」に特に合致する者	
(3) 第 3 段階 第 1 段階及び第 2 段階で合格となった者を除く全ての受検者	

《四日市農芸高等学校》

学 校 の 特 色
本校は四日市市の南端、河原田町にあり、交通はＪＲと伊勢鉄道が通っており、通学はたいへん便利です。校庭には多くの樹木が植えられ、春の新緑から秋の紅葉まで四季折々の樹木や花を楽しむことができます。専門高校として農業学科には３つの科、家庭学科には１つの科があります。農業では、栽培や飼育を中心とした食料生産の分野や観賞植物を活用した生活環境の改善についての知識・技術を学ぶ「農業科学科」、食の安全・安心をコンセプトに食品の製造・衛生・栄養、活用等について学ぶ「食品科学科」、自然と人間の調和を図り造園や都市計画、環境保全等の業務に従事し生活環境の向上を目指す「環境造園科」があります。また、家庭では、衣・食・住・福祉など、日々の生活と関わりの深い分野について学ぶことができる「生活文化科」があります。

選抜において重視する要件
〔農業科学科、食品科学科、環境造園科、生活文化科共通〕 ○ 各学科の学習内容に興味・関心があり、学習意欲のある者 ○ 部活動または生徒会活動等に積極的に取り組む意欲のある者 （農業科学科） ○ 栽培や飼育を中心とした食料生産の分野や観賞植物を活用した生活環境の改善といった分野に興味・関心及び意欲があり、将来その分野への進路を希望する者 （食品科学科） ○ 食の安全性や栄養機能、食品の開発、加工、販売技術に興味・関心及び意欲があり、将来その分野への進路を希望する者 （環境造園科） ○ 庭造りや公園設計、地域の自然環境の保全や再生に興味・関心及び意欲があり、将来その分野への進路を希望する者 （生活文化科） ○ 食物、服飾、福祉の分野に興味・関心及び意欲があり、高度な知識・技術を習得して、将来その分野への進路を希望する者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
農業科学科 食品科学科 環境造園科 生活文化科	面 接	個人面接（１０分程度） 志望の動機、目的意識、学習や部活動、生徒会活動等への関心・意欲等について応答する。
	作 文	５０分・６００字程度

学 科 名	選 抜 方 法
農業科学科 食品科学科 環境造園科 生活文化科	１ 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。（第１～３学年の各教科の評定の合計 １３５点満点） (2) 面 接 Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ、Ｅの５段階で評価し、点数化する。（３０点満点） (3) 作 文 Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ、Ｅの５段階で評価し、点数化する。（２０点満点） ２ 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第１段階 調査書得点の順位が募集人数のおよそ６０％以内であることと、個人面接及び作文の評価がＣ段階以上で、なおかつＢ段階以上の評価が一つ以上あることの両方の条件を満たす者 (2) 第２段階 第１段階で合格となった者を除く全ての受検者

《菰野高等学校》

学 校 の 特 色
○菰野高校とは 昭和23年に創設され、70年を超える歴史と伝統があり、多くの卒業生が県内外の各界で活躍しています。また、菰野町唯一の県立高校として地元から親しまれるなど、地域とのつながりが強い学校です。 ○菰野高校が特に力を入れていること 【学力の向上】 在校生の進路希望は就職、進学と様々ですが、全員が希望する進路を実現できるよう、1学年次から段階を追って丁寧な指導を行うなど、学力の向上に力を入れています。 【エリア制】 「エリア制」という柔軟な教育課程を編成しているのが特徴です。2学年次から、次に示す3つのエリア（科目群）から授業を選択して、自分の興味・関心や進路希望に応じた学びを深め、力をつけていきます。 『ステップアップ』：大学・短大・高等看護専門学校等への進学に必要な学力を身につけ、大学等への合格を目指します。 『キャリアデザイン』：就職したあと、仕事をするうえで必要となる資格の取得、技能の習得など、社会人としての資質と能力を身につけます。 『ヒューマンサポート』：実習や体験学習を中心とする授業をととして、社会人にふさわしい人格の完成を目指します。 【部活動、生徒会活動、地域との連携】 部活動をはじめ、生徒会活動、学校行事を通じて、優しさや思いやり、生命の尊さや人権を尊重する心、感謝の気持ちなど、一人ひとりの豊かな人間性を育みます。また、地域の行事等に積極的に参加するなど、「地域から愛される学校」として活発に活動しています。

選抜において重視する要件
(普通科) ○ 明確な進路希望を持って、本校の学校生活や学習活動、体験学習等の地域に根ざした教育活動に積極的に取り組む意欲のある者 ○ スポーツ・文化活動や生徒会活動またはボランティア活動等に積極的に取り組んでおり、入学後も継続して活動する意志のある者 ○ 漢字検定、英語検定、数学検定、情報処理検定、ビジネス文書検定などの様々な資格検定を積極的に取得しようとする者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	面 接	集団面接（1グループ20分程度） 志望動機、志願者の目的意識、関心、意欲等について応答する。
	学力検査	数学

学 科 名	選 抜 方 法	
普 通 科	1 選抜資料の取扱い	
	(1) 調 査 書 点数化する。	
	評定(第3学年の各教科の評定の合計)	4 5 点満点
	スポーツ・文化活動等の実績や能力	最高 5 点
	合 計	5 0 点
	(2) 面 接 A、B、C、Dの4段階で判定する。	
	(3) 学力検査 数学(50点満点)の得点をA、B、C、Dの4段階で評価する。	
	2 選抜方法	
	次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。	
(1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数のおよそ60%以内であることと、面接及び数学の評価がともにB段階以上であることの両方の条件を満たす者		
(2) 第2段階 調査書得点の順位が募集人数のおよそ80%以内であることと、面接及び数学の評価がともにC段階以上であることの両方の条件を満たす者		
(3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者		

《川越高等学校》

学 校 の 特 色	
川越高校は、広い国際的な視野と自主的創造的な精神を身につけた「自立した学習者」(Independent Learner)を育成し、地域から信頼される進学校としての役割を果たします。文武両道に励みながら、概ね卒業生の4割が国公立大学に合格するなど、文系、理系を問わず幅広い分野の大学へ進学しています。 様々な社会課題を見出し主体的かつ協働的に解決できる次世代を担う人材育成をめざして、令和7年度入学生から、普通科を「探究科」に、国際文理科を「国際探究科」に学科を改編し、次のように取り組んでいます。 ・ 大学進学に対応した授業に加え、「総合的な探究の時間」等、探究活動に取り組む時間を十分に確保し、探究活動の基本的スキルの理解・定着から探究活動の実践及び発表に至るまで、探究活動のレベルを段階的に高めていく「探究プログラム」により、系統的な探究活動に取り組みます。 ・ 学年の枠を越えた縦割りグループを編成し、上級生が下級生をリードしながらミニ探究活動や中間発表会を行い、生徒が主体的・協働的に探究活動に取り組みます。 ・ 国のDXハイスクール事業の指定を受け、生徒が自由に使える高機能パソコンや大型モニター等のデジタル機器を配置した「DX探究ラボルーム」を活用し、探究活動の質の向上につなげています。 ・ 様々な業種の県内企業や小中学校、大学等の高等教育機関、行政機関等と連携し、個々の探究課題に応じたフィールドワークを実施します。また、教職や医療看護系の進学セミナーを開催し、専門人材による講演会を実施します。 ・ 海外からの交換留学生を受け入れるとともに、海外研修や留学、海外大学進学に向けたツアーデスクを開設するなど、海外交流を充実します。 ・ 生成AIや充実したオンデマンド学習教材を活用し、個々の学習状況に合った個別最適な学習を推進します。 ○国際探究科の特色 ・ 2名のALTによるクリエイティブな授業や少人数制の英語プレゼンテーションスピーチ、サイエンスダイアログ等の各界スペシャリストによる英語特別講義等、これまで時代をリードしてきた本校独自の多彩な英語教育プログラムがあります。 ・ 海外大学において英語で講義を受け、英語で探究活動のプレゼンテーションを行ったり、在外企業を訪問したりする「海外スタディツアー」（シンガポールを予定）を実施します。	

選抜において重視する要件
〔探究科、国際探究科共通〕 ○ 将来、大学等への進学をはじめ、主体的に進路を切り拓き、学び続ける意欲のある者 （国際探究科） ○ 英語について興味・関心が強く、入学後も主体的に学ぶ意欲のある者 （探究科） ○ 探究活動について興味・関心が強く、入学後も主体的・積極的に活動していく意欲のある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
探 究 科	自己表現	個人 ・ 持参した探究活動の成果物によるプレゼンテーション（8分） ・ プレゼンテーションへの質疑応答及び志望動機等の質問（合わせて5分程度）
国際探究科	学力検査	数学、英語

《川越高等学校》

学 科 名	選 抜 方 法
探 究 科	1 選抜資料の取扱い (1) 「自己表現」 45点 (2) 調査書 点数化する。 評定（第3学年の各教科の評定の合計） 45点満点 探究活動の実績 最高 10点 合 計 55点 2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 「自己表現」の得点と調査書の合計点数の合計が上位80％以内にあたる者 (2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者
国際探究科	1 選抜資料の取扱い (1) 学力検査 100点（数学50点、英語50点） (2) 調査書 点数化する。（第3学年の各教科の評定の合計 45点満点） 2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の120％以内であることと、学力検査得点の合計の順位が募集人数の80％以内であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者

《神戸高等学校》

学 校 の 特 色
本校は、大正9（1920）年創立の伝統ある進学校です。 鈴亀地区から通学している生徒が最も多く、地域の方々からは「神高生（かんこうせい）」と親しみをこめて呼ばれています。また、生徒は「質実剛健」の校訓のもと、誠実に、心身ともに健やかでたくましく学業に励んでいます。 本校では、どのような状況においても輝くことができる生徒を育てることを目指しています。生徒のほぼ全員が大学への進学を目指し、8割以上の生徒が部活動に励みながら、充実した高校生活を過ごしています。また、個別面談のほか、課外授業、進路ガイダンス、大学出前授業等、希望する進路の実現に向けた多彩な行事設定やきめ細かな進路指導がなされています。 自らを知り、自分の目標に向かって挑戦し続けながら、将来、地域に貢献しリーダーとして活躍できる生徒を育成しています。

選抜において重視する要件
（理数科） ○ 学習成績が優秀で、意欲的に学習活動に取り組める者 ○ 国公立大学をはじめとする難関四年制大学への進学を希望する者 ○ 理数分野に関心があり、次世代を担う研究者・技術者として、社会に貢献する「夢」と「志」を持つ者 ○ リーダーシップを備え、部活動または生徒会活動等へ積極的に取り組める者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
理 数 科	面 接	集団面接（1グループ30分程度） 進路に対する目的意識、得意分野・教科に関する関心・意欲等について応答する。
	学力検査	数学、英語

学 科 名	選 抜 方 法
理 数 科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。（第3学年の各教科の評定の合計 45点満点） (2) 面 接 A、B、Cの3段階で評価する。 (3) 学力検査 100点（数学50点、英語50点）
	2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、面接の評価、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して、総合的に選抜する。 (1) 第1段階 調査書得点（45点満点）と学力検査得点の1.5倍（100点×1.5）の合計が、上位から募集人数のおよそ80％以内である者 (2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者

《飯野高等学校》

学 校 の 特 色
県内唯一の学科である応用デザイン科と英語コミュニケーション科を有する高等学校です。 応用デザイン科では、生徒の適性、興味・関心や進路希望等により「ビジュアルデザイン」「服飾デザイン」「美術（油彩画・日本画・彫刻）」の３コースに分かれて専門的な学習を行っており、専門学科ならではの施設・設備を活用して実習の時間を多く設けています。また、美術系やデザイン系の大学等への進学希望者が多く、国公立大学を含む芸術系大学への進学実績をあげています。 英語コミュニケーション科では、全ての英語の授業を少人数講座で行っており、読む・聴く・書く・話す（やり取り・発表）の４技能５領域をバランスよく学習できる授業内容となっています。ＡＬＴとのチームティーチングによる英会話やリスニングの授業も充実しています。授業以外にも、英語研修、海外語学研修、姉妹校（オーストラリア）交流など、実際に英語を使う多彩な行事を設けています。また、進路希望に応じたコース制のカリキュラムにより、四年制大学の外国語学部をはじめ、幅広い文系学部への進学実績をあげています。

選抜において重視する要件
（応用デザイン科） ○ 美術・デザイン表現に優れた資質をもつ者 ○ 将来の夢の実現に向けてチャレンジする向上心がある者 （英語コミュニケーション科） ○ 英語の学習に興味をもち、入学後も学習活動に意欲的である者 ○ 英語を生かした将来の夢の実現に向けてチャレンジする向上心がある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
応用デザイン科	面 接	集団面接（１グループ１５分程度） 志望動機、美術・デザインに対する関心・意欲、将来の目標等について応答する。
	実技検査	鉛筆デッサン（休憩時間を含む１２０分） 用具：鉛筆、消しゴム（練り消しゴム可）、鉛筆削り（カッターナイフ可）のみ持ち込み可（志願者が持参する） 用紙：四つ切り画用紙（高等学校が用意する）
	学力検査	英語、国語
英語コミュニケーション科	面 接	個人面接（１０分程度） 日本語と英語による面接。英語による面接では、日常会話や英文の内容について英問英答を行う。 （例）What is your hobby?
	学力検査	英語

《飯野高等学校》

学 科 名	選 抜 方 法
応用デザイン科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。(第3学年の各教科の評定の合計 45点満点) (2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (3) 学 力 検 査 100点(国語50点、英語50点) (4) 実 技 検 査 100点(鉛筆デッサン) 2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、面接の評価並びに調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 次の3つの条件を全て満たす者 ① 調査書得点の順位が募集人数の100%以内であること ② 学力検査得点の順位が募集人数の100%以内であること ③ 実技検査得点の順位が募集人数の100%以内であること (2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者
英語コミュニケーション科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。(第3学年の各教科の評定の合計 45点満点) (2) 面接(英語) 点数化する。(50点満点) (3) 面接(日本語) A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (4) 学 力 検 査 50点(英語) 2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、面接(日本語)の評価並びに調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の100%以内であることと、学力検査得点と面接(英語)による得点の合計の順位が募集人数の80%以内であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者

《白子高等学校》

学 校 の 特 色	
(普通科) 「創造・奉仕・規律」を教育理念として掲げている。奉仕の心で行動し、規律を守り、主体的に学ぶ姿勢の育成を目指す。 地元から愛され、応援される学校を目指している。 各々の生徒が「学ぶ意識」や「目的意識」をもち、特別活動等を通じて向上心を高め、社会の一員として必要な意識の醸成（じょうせい）に努めている。 生徒の希望に応じて、進学にも就職にも応えられる総合的な教育を実施している。 (普通科・文化教養（吹奏楽）コース) 吹奏楽に関する専門科目（吹奏楽、演奏研究、重奏、舞台芸術、音感身体表現等）を履修し、演奏技術、指導技術、音楽的素養の習得とともに、豊かな人間性をもったスペシャリストを育成する。 また、就職はもちろんのこと、音楽系大学や文系大学等への進学にも対応している。 (生活創造科) 家庭に関する知識や技術、マナーを学習し、心豊かなライフスタイルを創造する力を身につける。 新しい感覚をもったスペシャリストを育成するため、従来の家庭科領域にとらわれない独自のカリキュラムを設定している。 2年次から、食物分野・被服分野を柱とする2コースに分かれて専門的な学習をし、様々な資格取得にもチャレンジできる。 また、ボランティア活動を通して地域や産業界との連携を深めている。	

選抜において重視する要件	
[普通科、普通科・文化教養（吹奏楽）コース、生活創造科共通] ○ 志望の動機が明確で、高校生活にしっかりとした目標・目的意識をもった者 (普通科) ○ すべての教科に対して真面目に学習活動に取り組める者 ○ 勉学をはじめ、スポーツ・文化活動や生徒会活動またはボランティア活動等に積極的に取り組んでおり、入学後も高校生活において継続して努力する意志のある者 (普通科・文化教養（吹奏楽）コース) ○ すべての教科に対して真面目に学習活動に取り組める者 ○ 吹奏楽活動に興味・関心があり、高校生活において継続して努力する強い意志のある者 ○ 吹奏楽において優れた資質や実績があり、入学後も本校の中核として活動する強い意志のある者 (生活創造科) ○ 家庭に関する知識や技術の習得に興味があり、真面目に学習活動に取り組める者 ○ 勉学をはじめ、スポーツ・文化活動や生徒会活動またはボランティア活動等に積極的に取り組んでおり、入学後も高校生活において継続して努力する意志のある者	

学科・コース名	検 査	実 施 概 要
普通科 生活創造科	面 接	個人面接（5分程度） 本校入学への目的意識や面接態度をみて、適性を確認する。
	学力検査	国語
普通科・ 文化教養 （吹奏楽） コース	自己表現	個人発表（5分程度） 自由な形式での自己PR（音楽系実技）及び質疑応答を通して、文化教養（吹奏楽）コースへの興味・関心、意欲や適性をみる。 （個人発表の例） ・ 楽器の演奏をする。
	学力検査	国語

《白子高等学校》

学科・ コース名	選 抜 方 法						
普 通 科 生活創造科	1 選抜資料の取扱い (1) 学力検査 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (3) 調 査 書 点数化する。 <table> <tr> <td>評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）</td> <td>90点満点</td> </tr> <tr> <td>評定以外の記載事項</td> <td>最高 20点</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>110点</td> </tr> </table> 2 選抜方法 学力検査及び面接の結果と調査書をもとに、自己推薦書の記載事項を考慮し総合的に選抜する。	評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	90点満点	評定以外の記載事項	最高 20点	合 計	110点
評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	90点満点						
評定以外の記載事項	最高 20点						
合 計	110点						
普通科・ 文化教養 (吹奏楽) コース	1 選抜資料の取扱い (1) 学力検査 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (2) 自己表現 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (3) 調 査 書 点数化する。 <table> <tr> <td>評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）</td> <td>90点満点</td> </tr> <tr> <td>評定以外の記載事項</td> <td>最高 20点</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>110点</td> </tr> </table> 2 選抜方法 学力検査及び自己表現の結果と調査書をもとに、自己推薦書の記載事項を考慮し総合的に選抜する。	評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	90点満点	評定以外の記載事項	最高 20点	合 計	110点
評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	90点満点						
評定以外の記載事項	最高 20点						
合 計	110点						

《石薬師高等学校》

学 校 の 特 色
本校は昭和53年に創立され、令和9年度には開校50年目を迎える普通科の学校です。 校訓の「自主・創造・敬愛」をもとに、次のような学校を目指しています。 ＜自主＞ 自ら努力して学び、自分の進路を自分で切り拓く生徒を育てる学校 ＜創造＞ 地域から信頼され、強い責任感を持ち、将来の社会に貢献する生徒を育てる学校 ＜敬愛＞ 笑顔にあふれ、人を思いやる豊かな人間性を持つ生徒を育てる学校 このような学校を実現するために生徒一人ひとりをきめ細かくサポートする取組を進めています。特に次の3つに力を入れています。 ○ 学ぶ楽しさを実感できる授業 生徒一人ひとりが学ぶ意欲を高めながら、基礎的な学力をしっかりと身につけるよう「わかる授業」をめざして取り組んでいます。授業によっては、習熟度別のクラス編成をしています。 ○ キャリア教育の充実 1年次は全員共通の科目を学習し、その後2年次からは進学希望に対応する「アカデミック類型」と就職など幅広い進路希望に対応する「スタンダード類型」に分かれ、進路希望に応じて学びます。また、総合的な探究の時間等において「企業・学校説明会」「企業・学校訪問見学」「インターンシップ（就業体験）」などに取り組むとともに全職員体制で指導にあたる「面接指導」を行うなど、3年間を見通じたキャリア教育計画を進め、生徒一人ひとりの進路希望を実現します。 ○ 豊かな人間性の育成 ホームルーム活動、学校行事や部活動・生徒会活動のほか、併設の特別支援学校との交流等を通じて、他者への優しさや思いやり、生命の尊さや人権を尊重する心、感謝の気持ちなど、生徒一人ひとりの豊かな人間性を育みます。

選抜において重視する要件
(普通科) ○ 志望動機が明確で、高校生活に目的意識を持つ者 ○ 規範を守り、学校生活に積極的に取り組める者 ○ 基礎的な学力と学ぶ意欲を備え、向上心を持って学習する者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	面 接	個人面接（10分程度） 志望動機、学習・部活動等の学校生活に対する意欲・関心、将来の目標等について応答する。
	学力検査	国語

学 科 名	選 抜 方 法
普 通 科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。 評定（第3学年の各教科の評定の合計）4 5 点満点 評定以外の記載事項最高3 0 点 合 計7 5 点 (2) 面 接 次の4つの項目について、A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 ・ 志望動機 ・ 中学校生活に関する内容 ・ 高校での抱負と将来の進路 ・ 面接態度 (3) 学力検査 国語（5 0 点満点）
	2 選抜方法 (1)～(3)をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《稻生高等学校》

学 校 の 特 色

知・徳・体の調和がとれた教育実践をととして、学校・家庭・地域の連携のもと「社会に役立つ人材の育成」に取り組み、向上心やコミュニケーション能力の育成を目指します。また「社会に役立つ人材」を育成するためのきめ細やかな生徒指導や個人面談を充実させ、個々の進路実現につなげます。

(普通科)

- 2年次より、生徒の興味・関心に合わせてコースの授業を行い、大学、専門学校、民間企業等と連携し、資格取得や実習を多く取り入れ、生徒一人ひとりの進路実現につなげます。

- ・アドバンスコース

国語・社会（公民）・数学・理科・英語の5教科の授業をととして、幅広い教養を身につけることをねらいとするコースです。生徒一人ひとりの多様な進路選択に対応し、基礎から発展的な内容まで学びます。また、資格取得をサポートし、社会で活躍できる人材の育成を目指します。

- ・工業コース

「自動車分野」と「ものづくり分野」の2つの分野に分かれ、工業に関する専門的な知識や技能を身に付けていきます。3年次では、地元企業と連携した「企業実習」にも取り組みます。

- ・介護福祉コース

介護福祉についての専門的な知識を学ぶとともに、「介護職員初任者研修課程（旧ホームヘルパー2級）」の資格取得を目指します。

- ・食物調理コース

食文化や食品についての専門的な知識を学ぶとともに、調理実習等をととして、計画的に考え行動する力を身につけ、食物に関する資格の取得を目指します。

- ・ビジネスコース

簿記や情報処理などの商業科目を学ぶことで、コンピュータリテラシーやビジネスマナーなどビジネス社会で必要とされる力を養います。

- ・情報コース

日々高度化する情報社会で専門的な情報活用能力、技術や正しい情報モラルを備えたスペシャリストの育成を目指します。さらにプレゼンテーションの学習を通じて、社会人として必要とされているコミュニケーション能力や自己表現力が身につけられます。

(体育科)

- 健康促進：自身の健康を重視し、フィットネスプログラムや栄養指導などを通じて、健康的な生活習慣を養います。
- 運動能力の向上：生徒たちの運動能力を高めるために、多様なスポーツや運動プログラムを提供し、個々のニーズや興味に合わせたトレーニングを行います。
- スポーツマンシップと精神面の育成：勝利だけでなく、フェアプレイや相手を尊重する精神を育て、スポーツマンシップを重視します。また、ストレス管理や精神的な健康に関する教育を行います。
- チームワークとリーダーシップの育成：チームスポーツや協力型の活動を通じて、チームワークやリーダーシップスキルを養います。生徒たちが協力し合い、責任を持って行動する機会を提供します。
- キャリアの可能性の拡大：保健体育科教員をはじめ公務員を目指す等、将来のキャリアの可能性を広げる支援を行います。また、スポーツ関連のキャリアに興味を持つ生徒には、コーチングやスポーツマネジメントなどの専門知識を提供します。

選抜において重視する要件

[普通科、体育科共通]

- 明確な進路希望を持ち学習活動をはじめ、主体的、積極的に取り組む意欲のある者
- 規範意識や基本的生活習慣が身についている者
- 自他を敬愛し、コミュニケーション能力がある者

(普通科)

- コース制を理解し、学習活動に意欲的に取り組める者
- 資格取得、スポーツ（部活動やクラブチームでの活動）、文化活動や生徒会活動等に積極的に取り組んでおり、入学後も継続していく意思のある者

(体育科)

- スポーツ等において優れた実績があり、専門性を高め、競技力向上を継続して活動する強い意志のある者
- スポーツに強い興味・関心があり、体育科の学習活動や部活動に継続して意欲的に取り組める者

《稲生高等学校》

学科・コース名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	面 接	個人面接（１０分程度） 志望動機、学習や学校教育活動等への意欲、将来の目標等について応答する。
	学力検査	国語
体 育 科	面 接	個人面接（１０分程度） 志望動機、学習や学校教育活動等への意欲、将来の目標等について応答する。
	実技検査	運動基礎力： 立ち幅跳び、ハンドボール投げ、反復横跳びを全員が受検する。 選択種目： 次の６種目の中から受検者が事前に選択した１種目を受検する。内容は、基本的な技能・技術、動作を中心とする。 陸上競技（１００ｍ走、８００ｍ走、走り高跳び、走り幅跳び、砲丸投げの中から１つを選択する。）・柔道・ソフトボール・サッカー・バスケットボール・ハンドボール （注）陸上競技は天候によって、一部の種目を変更することがある。 １００ｍ走・走り幅跳び・砲丸投げ→立ち幅跳び ８００ｍ走→シャトルラン

学科・コース名	選 抜 方 法
普 通 科	１ 選抜資料の取扱い （１）調 査 書 点数化する。 ・第３学年の各教科の評定の合計 ４５点満点 ・スポーツ・文化活動・生徒会活動等における取組状況、実績、資格等 最高１０点 （２）面 接 Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ、Ｅの５段階で評価する。 （３）学力検査 国語（５０点満点）の得点をＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄ、Ｅの５段階で評価する。
	２ 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 （１）第１段階 調査書得点の順位が募集人数のおよそ８０％以内であることと、面接と学力検査（国語）の評価がともにＢ段階以上であることの両方の条件を満たす者 （２）第２段階 第１段階で合格となった者を除く全ての受検者
体 育 科	１ 選抜資料の取扱い （１）調 査 書 点数化する。 ・第３学年の各教科の評定の合計 ４５点満点 ・スポーツ・文化活動・生徒会活動等における取組状況、実績、資格等 最高１０点 （２）面 接 Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ、Ｅの５段階で評価する。 （３）実技検査 Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ、Ｅの５段階で評価する。
	２ 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 （１）第１段階 調査書得点の順位が募集人数のおよそ８０％以内であることと、面接の評価がＢ段階以上かつ実技検査の評価がＡ段階であることの両方の条件を満たす者 （２）第２段階 第１段階で合格となった者を除く全ての受検者

《亀山高等学校》

学 校 の 特 色	
生徒一人ひとりが自分の可能性を広げ、夢や目標に向かって主体的に学び、成長していく学校です。 ○ 伝統 創立 100 年を超える歴史と伝統をもつ学校であり、地元を中心に多くの卒業生がさまざまな分野で活躍し、地域から厚い信頼を得ています。 ○ 校訓「自主自律」 「自主自律」の精神のもと、主体的に学び、自らの進路を切り拓くことのできる生徒の育成を目指した教育活動を実践しています。 生徒は日々の学校生活の中で、自ら考え、行動し、成長しています。 ○ 進路「進学にも就職にも強い学校」 大学・短期大学・専門学校等への進学は約 6～7 割、就職は約 3～4 割で、「進学にも就職にも強い学校」として、生徒の進路希望に柔軟に対応できる進路指導体制が整っています。また、地元産業を中心に多くの求人があり、生徒は自分の適性を生かして進路を実現しています。 進路意識の向上と進路実現のため、大学・専門学校等や職業に触れる機会を 1 年次から設けており、早期から将来を考えることができます。自分の将来を見据えながら学べる環境が整っています。 ○ 魅力ある学校行事 体育祭や文化祭などの行事に加え、インターンシップや各種講演会など、さまざまな行事を通して、社会とつながる学びを深めています。これらの経験を通してコミュニケーション力を高め、豊かな人間性を育てています。 ○ 勉強も部活動も充実 多くの生徒が勉強と部活動を両立し、充実した学校生活を送っています。部活動は運動部・文化部ともに 10 以上あり、自分に合った活動を見つけることができます。 また、ウエイトリフティング部をはじめ、東海大会や全国大会に出場する部活動もあり、生徒はそれぞれの強みを生かして活躍しています。 ○ 3 つの学科 普通科、システムメディア科、総合生活科の 3 つの特色ある学科を設置し、生徒一人ひとりの興味・関心や能力・適性に応じた学習を実現しています。自分の「好き」や「やりたい」を見つけ、伸ばすことのできる環境です。 ・普通科は、進路希望の実現に必要な学力を養うため、きめ細かで丁寧な指導を行っています。 ・システムメディア科は、県内唯一の「情報」に関する専門学科であり、充実した施設・設備のもと、プログラミングやデザインなど、情報社会で活躍できる実践的な知識と技術の習得を目指しています。 ・総合生活科は、「家庭」に関する専門学科として、地域との交流を大切にしながら、思いやりの心とコミュニケーション能力の育成を目指しています。また、保育を専門的に学ぶことのできる県内唯一の学科です。	

選抜において重視する要件	
[普通科、システムメディア科、総合生活科共通] ○ スポーツ・文化活動やボランティア活動または生徒会活動等に意欲をもって取り組む姿勢を有する者 (普通科) ○ 志望の動機が明確で、将来の進路の実現に向けて努力することのできる者 ○ 将来の明確な進路希望がある者 (システムメディア科) ○ 情報に関する分野に興味・関心があり、意欲的に取り組める者 ○ 資格取得を目指し、努力することのできる者 (総合生活科) ○ 家庭に関する分野に興味・関心があり、学習する目的が明確な者 ○ 知識や技術の習得に向け、努力することのできる者	

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科 システムメディア科 総合生活科	面 接	個人面接（5 分程度） 志望理由、中学校生活、高校生活における抱負、進路に対する目標等について応答する。
	作 文	30 分・600 字程度

学 科 名	選 抜 方 法
普 通 科 システムメディア科 総合生活科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。(第3学年の各教科の評定の合計 45点満点) (2) 面 接 次の6つの項目について評価し、点数化する。(30点満点) ・ 本校を志望する動機 ・ 学習に対する意欲 ・ 中学校生活における諸活動 ・ 高校生活についての抱負 ・ 自己や社会問題への関心 ・ 面接態度 (3) 作 文 A、B、Cの3段階で評価する。 2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 作文の評価がB段階以上であることと、調査書得点と面接得点の合計の順位が募集人数のおよそ80%に当たることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 作文の評価がB段階以上かつ面接得点の順位が募集人数のおよそ120%に当たる者のうち、調査書の評定以外の記載事項及び「自己推薦書」の記載事項において、「選抜において重視する要件」に特に合致すると認められる者 (3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者

《津西高等学校》

学 校 の 特 色
本校は、創立より53年、清新の気にあふれ、教育内容・教育環境ともに充実した学校です。地元では「西高」と愛称され、「高い志と広い視野を持ち、社会をリードする人材を育成する学校」「これからの社会を生き、未来を切り拓くために必要な資質・能力を培う学校」「確かな学力と豊かな人間性を育み、進路希望を実現する文武両道の進学校」として教育課程を編成し、学習指導・進路指導の充実に努めています。 平成19年度から6年間は「スーパーサイエンスハイスクール」、平成25年度には「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」の指定を受け、大きな成果をあげました。平成26年度からは、「津西サイエンス・パートナーシップ・プログラム」と称し、それまでの内容を継承・発展させた取組を行いました。さらに、令和7年度からは「津西 CONNECT」と名称を変更し、大学・企業・地域と連携を強化するとともに、国際科学科を中心に、国内外で活躍できる能力と資質を備えた人材の育成を目指しています。 また、「津西グローバルチャレンジプロジェクト」として、「オーストラリア語学研修」を隔年で実施しています。平成29年度からは、これからの社会で求められる他者との協働による課題発見・解決力および表現力を養うため、「総合的な探究の時間」において探究活動「西考」に取り組み、「確かな学力と実践力」「本質を明確にしようとする探究心」「高い自己肯定感」を備えた生徒の育成を目指しています。

選抜において重視する要件
(国際科学科) ○ 将来リーダーとして国際社会に貢献しようとする高い志と夢をもち、それに対応できる学習成績と学習意欲をもっている者 ○ 難関国公立大学への進学を強く希望し、希望実現のため意欲的・積極的に取り組める者 ○ 前期選抜学力検査教科のみならず、どの教科に対しても意欲的に取り組んでいる者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
国際科学科	学力検査	数学、英語

学 科 名	選 抜 方 法
国際科学科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。(第3学年の各教科の評定の合計 45点満点) (2) 学力検査 100点(数学50点、英語50点)
	2 選抜方法 (1)と(2)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《津商業高等学校》

学 校 の 特 色
中勢地区で唯一の商業に関する専門高校で、情報システム科とビジネス科があります。 情報システム科は、ネットワーク・データベース・セキュリティマネジメントといった情報の専門分野の基礎を学習し、情報化社会に対応できる資格（国家試験等）と知識・技術を身につけ、ビジネスの諸活動においてコンピュータを活用する能力と態度を育みます。 ビジネス科は、簿記会計やワープロ、情報処理、マーケティング分野などビジネスに必要な知識・技術・マナーを幅広く学びます。一人ひとりの進路や興味・関心に対応するため、2年生から会計類型と経営情報類型に分かれて学習します。 卒業後の進路は、およそ6割が四年制大学・短期大学・専門学校等への進学、およそ4割が多様な職種へ就職し、就職者の大半が三重県内に就職しています。 部活動がたいへん盛んで、運動部・文化部ともいくつもの部が全国大会に毎年出場しています。多くの生徒が学習と両立させながら充実した学校生活を送っています。

選抜において重視する要件
〔ビジネス科、情報システム科共通〕 ○ 「商業」や「情報」の学習に興味・関心と意欲があり、資格取得にも積極的に取り組める者 ○ スポーツ活動や文化活動または生徒会活動等に意欲を持って取り組む姿勢を有する者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
ビ ジ ネ ス 科 情報システム科	面 接	個人面接（10分程度） 志望動機、中学時代の諸活動、高校生活への関心・意欲、将来の目標等について応答する。
	作 文	40分・400～500字

学 科 名	選 抜 方 法	
ビ ジ ネ ス 科 情報システム科	1 選抜資料の取扱い	
	(1) 調 査 書 点数化する。	
	評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	4 5 点満点
	スポーツ・文化活動、生徒会活動等における	
	取組姿勢、意欲、実績等	最高 1 5 点
	合 計	6 0 点
	(2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。	
	(3) 作 文 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。	
	2 選抜方法	
次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。		
(1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の60％以内であることと、面接の評価がC段階以上であることの両方の条件を満たす者		
(2) 第2段階 調査書得点の順位が募集人数の120％以内であることと、面接の評価がB段階以上かつ作文の評価がC段階以上であることのすべての条件を満たす者		
(3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者		

《津東高等学校》

学 校 の 特 色	
○	本校は、津駅から最も近くにある普通科・単位制高校で、多くの生徒が国公立大学をはじめとする四年制大学への進学を希望しています。本校では、受験を突破する力を付けるだけでなく、変化の大きいこれからの社会で必要とされる、「自分らしくたくましく『未来を切り拓く力』（対話力・追究力・創造力・発信力）」の育成を目指しています。これらの力を育成するため、地域の「本気の大人」の協力を得て、1・2年生で、探究活動「自分らしくプロジェクト」に取り組み、答えが一つでない問いに対して納得解を創り出す経験を積んでいます。また、単位制の特色を活かした多様な選択講座により、進路希望に応じた系列を選択することができるとともに、一人ひとりを大切にしたいきめ細やかなガイダンスを通して自分の将来についてじっくり考えることができます。
○	1年次より、Sクラス（80人）とFクラス（160人）に分かれます。Sクラスは、1年次より国公立大学をはじめとする四年制大学等への進学を強く希望する生徒で編成するクラスです。Fクラスは、1年次で共通の科目を学習しながら進路を考え、2年次は理系・文系の2つの系列、3年次には4つの系列から、自分の進路実現に最も適した系列を選びます。

選抜において重視する要件	
(普通科)	○ 自分らしく社会に貢献しようとする夢と志を持ち、その実現のために、国公立大学をはじめとする四年制大学等に進学したいという意志が明確な者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	学力検査	数学、英語

学 科 名	選 抜 方 法
普 通 科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。(第3学年の各教科の評定の合計 45点満点) (2) 学力検査 200点(数学50点、英語50点をそれぞれ2倍する)
	2 選抜方法 (1)と(2)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《津工業高等学校》

学 校 の 特 色
「電気科」「電子科」「建設工学科」各学年1学級と「機械科」各学年3学級を置く、平成29年度(2017年度)に100周年を迎えた長い歴史と伝統を有する、中勢地区唯一の工業高校です。生徒は、日々、教科学習をはじめ、部活動や資格取得等の自主的・自発的な活動をとおり、基礎学力の向上、工業に係る専門知識・技術、また、規範意識やコミュニケーション力等の社会人基礎力の習得、相手を思いやり、命を大切にする人権感覚の醸成等に積極的・意欲的に取り組んでいます。そして、専門知識・技術や部活動の実績を生かし、約7割の生徒が県内を中心に就職しています。また、約3割の生徒が県内外の大学・短大・専門学校に進学しています。

選抜において重視する要件
〔機械科、電気科、電子科、建設工学科共通〕 ○ 「ものづくり」に興味・関心があり、工業に係る専門知識・技術の習得に強い意欲を持ち、自己の進路実現に向かって主体的に学ぶ者 ○ ルールやマナーを順守し、良好なコミュニケーションを心がけながら、基本的生活習慣の確立に向かって弛みなく行動する者 ○ 部活動や生徒会活動、資格取得等の自主的・自発的な活動の充実に向かって積極的にチャレンジする者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
機 械 科 電 気 科 電 子 科 建設工学科	面 接	集団面接（1グループ20分） 志望動機、工業教育に関する興味・関心、適性について応答する。
	総合問題	50分（数学、国語）

学 科 名	選 抜 方 法
機 械 科 電 気 科 電 子 科 建設工学科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。 評定（第1～3学年の各教科の評定を換算） 70点満点 中学3年間におけるスポーツ・文化・地域活動の取り組み状況等 最高15点 合 計 85点 (2) 総合問題 30点 (3) 面 接 次の4つの項目についてそれぞれ評価し、A～Eの5段階で評価する。 ・ 本校を志望する動機、目的意識 ・ 学科の内容についての理解 ・ 高校生活への意欲 ・ 面接態度（応答の的確さ、明瞭さなど） 2 選抜方法 (1)と(2)の合計点数をもとに、面接の評価並びに調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《久居高等学校》

学 校 の 特 色	
○	自分らしい学びの選択ができる単位制高校の特徴を生かし、大学進学、看護、医療系を含む専門学校への進学、公務員、民間企業等への就職等、生徒が自分の進路を自ら設計し、着実に形にしていける力を育成します。
○	生徒の進路希望に応じて、きめ細かく丁寧に指導を行うために、1年次より、スポーツコースと普通コースに分かれて学習します。2年次からは、普通コースをさらに普通コースとチャレンジコースに分け、3つのコースにより、それぞれのコースに応じた学びを深めます。 ・スポーツコースでは、3年間を通して体育の専門科目をカリキュラムに取り入れた授業と校外実習等により、運動能力を生かし多様な進路が実現できるようサポートします。 ・普通コースでは、各自が希望する授業に分かれてのきめ細かな学習指導と授業選択モデルの設定により、4年制大学・短期大学・専門学校への進学、就職（公務員試験対策含む）など多様な進路希望の実現をサポートします。 ・チャレンジコースでは、国公立を含む4年制大学への進路実現に向け、基礎学力の定着から応用力養成まできめ細かく親身にサポートします。
○	運動部活動、文化部活動とも、盛んに活動しており、主体的に行動する機会が充実しています。勉強と部活動を両立させ、全国大会、東海大会に進出するなど、優秀な成績を収めています。
○	令和9年度から入学定員の一部にフレキシブル特別枠選抜を設けます。3時間目から登校するフレキシブルな時間割による対応をとおり、全日制課程に在籍しながら、連携するみえ夢学園高等学校定時制及び松阪高等学校通信制の授業も履修できる柔軟な学習スタイルにより、学ぶことができます。

選抜において重視する要件	
○	高校生活に明確な目標意識をもち、自らの目標に向かい意欲的・積極的に取り組める者
○	体育・スポーツに興味・関心をもち、スポーツに関連する学習活動や実習などに意欲的・積極的に取り組める者
○	各教科の学びを大切にして、自らの進路希望の実現に向けて、進路に応じた専門的な学習や実習などに意欲的・積極的に取り組める者
○	国公立を含む4年制大学等への進学を目指し、各教科の学習に意欲的・積極的に取り組める者
○	学校行事や部活動、地域活動などに意欲的・積極的に取り組める者

学科・コース名	検 査		実 施 概 要
普 通 科	面 接		集団面接（1グループ20分程度） 将来の進路希望やその実現に向けての意識、あるいは高校生活全般に対する関心、意欲等について応答する。
	次のどちらか一つを事前に選択する。	I 学力検査	国語
		II 実技検査	基本的な運動： ラジオ体操第一、マット運動を全員が受検する。 得意種目： 次の陸上競技2種目の中から受検者が事前に選択した1種目を受検する。 男子：100m走、1500m走 女子：100m走、1000m走 （注）天候によっては、種目を変更することがある。 100m走→25m2往復走 1500m走、1000m走→シャトルラン

《久居高等学校》

学科・ コース名	選 抜 方 法						
普 通 科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。 <table data-bbox="523 304 1177 398"> <tr> <td>評定（第3学年の各教科の評定の合計）</td> <td>45点満点</td> </tr> <tr> <td>評定以外の記載事項</td> <td>最高 5点</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>50点</td> </tr> </table> (2) 面 接 次の5つの項目について、総合的にA、B、Cの3段階で評価する。 ・志望動機 ・積極性 ・物事への関心 ・社会性 ・目的意識 (3) 検 査 （ⅠまたはⅡの検査方法の中からあらかじめ1つ選択する。） Ⅰ 学力型 学力検査 検査内容について、総合的にA、B、Cの3段階で評価する。 Ⅱ 体育型 実技検査 検査内容について、総合的にA、B、Cの3段階で評価する。 2 選抜方法 Ⅰ 学力型 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の80%以内であり、面接及び学力検査の評価がともにA段階である者 (2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者 Ⅱ 体育型 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の80%以内であり、面接及び実技検査の評価がともにA段階である者 (2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者	評定（第3学年の各教科の評定の合計）	45点満点	評定以外の記載事項	最高 5点	合 計	50点
評定（第3学年の各教科の評定の合計）	45点満点						
評定以外の記載事項	最高 5点						
合 計	50点						

《久居農林高等学校》

学 校 の 特 色	
本校では、農業及び家庭の専門性を生かし、地域社会を担う将来のスペシャリストを育成するとともに、「生物」「環境」「生活」の情報発信の拠点として、地域や社会に積極的に貢献する高校を目指しています。 また、わくわく農林塾や地域と連携した商品開発などの取組を通して、幼稚園児や小学生、地域の方々との交流も行っています。	
○ 農業科学科	米を中心とした作物生産、家畜を中心とした動物飼育、それらの生産物を加工する農産加工などの実践的な知識や技術を身につけ、地域の農業や畜産業に貢献できる力を養います。
○ 園芸科学科	トマトやイチゴなどの野菜栽培、ナシやブドウなどの果樹栽培、季節の草花の栽培や活用などの実践的な知識や技術を身につけ、専門分野の学習を生かした地域交流を通して社会に貢献できる力を養います。
○ 環境デザイン科	木材の生産や加工などの森林分野、測量やまちづくりに関わる農業土木分野、庭づくりや庭園管理などの造園分野などの実践的な知識や技術を身につけ、地域の環境保全と持続可能な発展に貢献できる力を養います。
○ 生活デザイン科：3つのコースに分かれます。	
食生活コース	調理・栄養・食品に関する専門的な知識や技術を身につけ、パティシエやシェフなど食の分野で活躍できる力を養います。
衣生活コース	服飾に関する専門的な知識や技術を身につけ、ファッション業界で活躍できる力を養います。
リビングコース	生活の基本となる衣食住の専門的な知識や技術を身につけ、生活者の視点から住環境の課題解決に取り組む力を養います。

選抜において重視する要件	
〔農業科学科、園芸科学科、環境デザイン科、生活デザイン科共通〕	
○ 強い志をもち、高等学校での学習に意欲的・継続的に取り組むとともに、その成果を生かして資格取得などに積極的に挑戦しようとする者	
○ 高等学校で学習する専門的な内容等を生かした進路実現を目指す者	
○ 部活動や生徒会活動、ボランティア活動等に積極的に取り組める者	
(農業科学科)	
○ 作物・畜産・農産加工等の農業に関する学習に強い興味・関心、意欲があり、それらの専門性を生かした進路実現を目指す者	
(園芸科学科)	
○ 野菜・果樹・草花等の園芸に関する学習に強い興味・関心、意欲があり、それらの専門性を生かした進路実現を目指す者	
(環境デザイン科)	
○ 森林・農業土木・造園等の環境に関する学習に強い興味・関心、意欲があり、それらの専門性を生かした進路実現を目指す者	
(生活デザイン科)	
○ 調理・服飾・インテリア・保育等に関する学習に強い興味・関心、意欲があり、それらの専門性を生かした進路実現を目指す者	

学 科 名	検 査	実 施 概 要
農業科学科 園芸科学科 環境デザイン科 生活デザイン科	面 接	個人面接（10分程度） 「自己推薦書」の内容を中心に、志願者の目的意識・関心・意欲について応答する。
	作 文	40分・400字程度
学 科 名	選 抜 方 法	
農業科学科 園芸科学科 環境デザイン科 生活デザイン科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）135点満点 (2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (3) 作 文 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。	
	2 選抜方法 (1)～(3)をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。	

《白山高等学校》

学 校 の 特 色
本校は、青山高原の東山麓、雲出川の中流域に位置しており、豊かな自然と落ち着いた学習環境に恵まれた、家庭的で温かい雰囲気のある学校です。 またコミュニティ・スクールの理念を生かした地域連携に取り組み、「地域を愛し地域を活性化できる生徒の育成」を目指しています。 小規模校のメリットを生かしたていねいな学習や、地域とのつながりを大切にした活動を中心に、きめ細かい指導とキャリア教育に力を入れています。 多くの科目で少人数制や習熟度別などの講座編成を行い、「学習のしやすさ」と「授業のわかりやすさ」を工夫しています。 地域における実習や体験学習を行う科目や、コミュニケーション能力を重視した科目など、総合的な「人間力」を高める科目群があります。

選抜において重視する要件
〔普通科、情報コミュニケーション科共通〕 ○ 学校生活や学習活動、地域に根ざした体験学習等を含め、本校での教育活動に積極的に取り組む意欲のある者 ○ スポーツ・文化活動において優れた実績や能力があり、入学後も継続して積極的に活動する意志のある者 ○ 生徒会活動またはボランティア活動等に積極的に取り組める者 (普通科) ○ キャリア教育を通して、社会で活躍できる人間力を身につけたい者 ○ 福祉に興味・関心があり、関連する資格取得を目指す者 (情報コミュニケーション科) ○ 情報コミュニケーション科の学習に興味・関心があり、主体的・積極的に取り組める者 ○ 将来の自己実現に向けて、商業系の資格取得を目指す者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科 情報コミュニケーション科	自己表現	○ 自己表現（5分程度） 自分の特技等から学んだことや、自己の成長につながったこと等を自己アピールする。 ○ 個人面接（10分程度） 面接では自己表現の内容や、志望動機等について応答する。

学 科 名	選 抜 方 法						
普 通 科 情報コミュニケーション科	1 選抜資料の取扱い (1) 調査書 点数化する。 <table border="0"> <tr> <td>① 第1～第3学年の各教科の評定を換算する</td> <td>90点 満点</td> </tr> <tr> <td>② 生徒会活動、スポーツ・文化活動等の実績等を含む取り組み状況、資格取得</td> <td>最高 20点</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>110点</td> </tr> </table> (2) 自己表現（個人面接を含む） 次の4つの項目について、総合的にA、B、Cの3段階で評価する。 ・ 自己表現の内容、発表方法、表現力 ・ 本校への志望動機、入学後の各種学習活動等への意欲 ・ 学科の内容についての理解 ・ 面接態度 2 選抜方法 (1) 調査書の①及び②と(2)自己表現（個人面接を含む）の評価をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項（スポーツ・文化活動の具体的な実績等）を考慮して総合的に選抜する。	① 第1～第3学年の各教科の評定を換算する	90点 満点	② 生徒会活動、スポーツ・文化活動等の実績等を含む取り組み状況、資格取得	最高 20点	合 計	110点
① 第1～第3学年の各教科の評定を換算する	90点 満点						
② 生徒会活動、スポーツ・文化活動等の実績等を含む取り組み状況、資格取得	最高 20点						
合 計	110点						

《上野高等学校》

学 校 の 特 色
120余年の歴史と伝統があり、多くの卒業生が各方面で活躍しています。地域からは、生徒の進路希望をきめ細かくサポートしてくれる進学校として信頼を得ています。学業と部活動の両立をモットーに、9割を超える生徒が部活動に加入しており、東海大会や全国大会の場で活躍している部もあります。 学際探究科は、三重県初の普通科新学科として、昨年度新入生を迎えました。従来の普通科の学びに探究的な学びを加えることで、生徒は試行錯誤を重ねながら課題解決へのアプローチや学び方を身につけ、より高い学力の習得へとつながっていきます。新時代に対応した新しい学科です。 文部科学省指定の「スーパーサイエンスハイスクール」は第Ⅱ期目を迎え、理数科・学際探究科ともに課題発見・解決力等を育む学習活動の更なる充実を図っています。

選抜において重視する要件
〔学際探究科、理数科共通〕 ○ 志望動機が明確で、高校生活にしっかりとした目的意識を有する者 (学際探究科) ○ 国公立大学や難関私立大学等への進学を希望し、すべての教科で意欲的に学習することができる者 ○ 学際探究科の学習および探究活動に積極的に取り組み、好奇心をもって様々な活動に挑戦することができる者 (理数科) ○ 難関国公立大学や医学科への進学を希望し、すべての教科に強い興味・関心をもって意欲的に取り組むことができる者 ○ 理数科の学習内容および理数科行事への興味・関心が高く、優れた思考力・判断力・表現力等を身に付け、主体的に学ぶことができる者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
学際探究科	面 接	個人面接（10分程度） 志望理由、将来の夢、中学校での探究活動、学際探究科で頑張りたいこと等について応答する。
	学力検査	数学、英語
理 数 科	学力検査	数学、英語

学 科 名	選 抜 方 法
学際探究科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。(第3学年の合計 45点満点) (2) 学力検査 100点(数学50点、英語50点) (3) 面 接 A、B、Cの3段階で評価する。
	2 選抜方法 (1)と(2)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項、面接の評価を考慮して総合的に選抜する。
理 数 科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。(第3学年の合計 45点満点) (2) 学力検査 100点(数学50点、英語50点)
	2 選抜方法 (1)と(2)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《あけぼの学園高等学校》

学 校 の 特 色
○ 小規模の学校で、各年次を20人程度のクラスに分けてホームルームを構成しています。 ○ 少人数教育によって、家庭的な雰囲気の中で一人ひとりを大切にする教育を推進しており、生徒の興味・関心、適性に合った進路が実現できるように積極的に支援しています。 ○ 総合学科の学校で、多くの選択科目から一人ひとりの個性に応じた授業を選択することにより将来の夢の実現をバックアップします。 ○ 習熟度別学習や少人数教育を積極的に取り入れ、1人1台タブレット端末をはじめとする充実したICT環境を活用して、学ぶ喜びを感じられる授業を展開しています。

選抜において重視する要件
(総合学科) ○ 志望動機が明確で、高校生活にしっかりとした目的意識をもつ者 ○ 総合学科の学習内容に対して強い興味・関心、意欲のある者 ○ 規範意識を強くもち、学校生活に積極的に取り組める者 ○ すべての教科に対して真面目に学習活動に取り組める者 ○ 将来の夢の実現に向け、チャレンジする向上心がある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
総合学科	面 接	個人面接(10分程度) 志望動機、将来の目標、中学校での活動等について応答する。
	作 文	30分・600字程度

学 科 名	選 抜 方 法
総合学科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 選抜方法の各段階において記載事項の全てを考慮する。 (2) 面 接 A、B、C、Dの4段階で評価する。 (3) 作 文 A、B、Cの3段階で評価する。
	2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 面接、作文の評価が全てA段階である者 (2) 第2段階 面接、作文の評価が全てB段階以上である者 (3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者

《伊賀白鳳高等学校》

学 校 の 特 色
○ 工業、農業、商業、福祉の学科を有する三重県唯一の総合専門高校です。地域に根ざし、地元で活躍できる生徒の育成をめざします。 ○ 7つの学科 機械科、電子機械科（ロボットコース、電気工学コース）、建築デザイン科（建築・インテリアコース、デザインコース）、生物資源科、フードシステム科（フードサイエンスコース、パティシエコース）、経営科、ヒューマンサービス科（介護福祉コース、生活福祉コース）を設置し、職業に関する専門的な学習を行います。 ○ 3年間を通した系統的なキャリア教育を推進し、生徒の興味・関心や適性に応じた進路が実現できるよう積極的に支援します。 ○ 企業と連携した伊賀版デュアルシステムを導入することにより、実践的かつ高度な専門教育を推進します。 ○ 部活動を奨励し、文化・スポーツ活動を通して心身を鍛えることにより、心豊かな人間性と個性を伸ばすことに努めます。 ○ 2年次からは、進学希望者に対応するため、専門科目に替えて普通教科・科目も選択することができます。 ○ 各種検定や職業資格の取得に向けて、積極的に取り組んでいます。

選抜において重視する要件
〔機械科、電子機械科、建築デザイン科、生物資源科、フードシステム科、経営科、ヒューマンサービス科共通〕 ○ 学習活動にまじめに取り組むことができる者 ○ 健康管理、自己管理ができ、自己表現力とコミュニケーション能力のある者 ○ 校内外における自発的な活動（たとえば、スポーツ・文化活動、生徒会活動、人権活動、ボランティア活動等）に熱心に取り組む、入学後も継続して意欲的に活動できる者 （機械科） ○ ものづくりに興味・関心があり、その分野の専門的な知識や技術の習得等に積極的に取り組む意欲のある者 （電子機械科） ○ コンピュータ制御技術に興味・関心があり、新しい知識や技術の習得等に積極的に取り組む意欲のある者 ○ 電気技術に興味・関心があり、その分野の専門的な知識や技術の習得等に積極的に取り組む意欲のある者 （建築デザイン科） ○ 技術・家庭に興味・関心があり、木材を使ったものづくりや建築に関する知識の習得等に根気強く取り組むことができる者 ○ 美術に興味・関心があり、その分野の専門的な知識や技術の習得等に積極的に取り組む意欲のある者 （生物資源科） ○ 植物バイオテクノロジーや食料生産に興味・関心があり、その分野の専門的な知識や技術の習得や新しい知識や技術の習得等に積極的に取り組む意欲のある者 （フードシステム科） ○ 安全で安心な食品の製造に興味・関心があり、その分野の専門的な知識や技術の習得等に積極的に取り組む意欲のある者 ○ 製菓に興味・関心があり、その分野の専門的な知識や技術の習得等に積極的に取り組む意欲のある者 （経営科） ○ 会計やビジネス情報、マーケティングに興味・関心があり、その分野の専門的な知識や技術の習得に積極的に取り組む意欲のある者 （ヒューマンサービス科） ○ 福祉に関する分野で、特に介護に興味があり、高度な資格の取得等に積極的に取り組む意欲のある者 ○ 福祉や保育に興味・関心があり、その分野の専門的な知識や技術の習得等に積極的に取り組む意欲のある者

《伊賀白鳳高等学校》

学 科 名	検 査	実 施 概 要
機 械 科 電子機械科 建築デザイン科 生物資源科 フードシステム科	面 接	個人面接（１０分程度） 志願する学科への志望動機、高校生活や学習活動等への関心・意欲、進路に関する目的意識、目標等について応答する。
経 営 科 ヒューマン サービス科	作 文	４５分・２～３のテーマに対し、各１５０～２００字

学 科 名	選 抜 方 法
機 械 科 電子機械科 建築デザイン科 生物資源科 フードシステム科	１ 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 A、B、C、Dの４段階で評価する。 (2) 面 接 A、B、C、Dの４段階で評価する。 (3) 作 文 A、B、C、Dの４段階で評価する。
経 営 科 ヒューマン サービス科	２ 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第１段階 調査書、面接、作文の評価が全てA段階である者 (2) 第２段階 調査書、面接、作文の評価が全てB段階以上である者 (3) 第３段階 第１段階及び第２段階で合格となった者を除く全ての受検者

《名張高等学校》

学 校 の 特 色	
○ 全体像	本校は、校訓である「自律」「協調」「創造」の精神を活かし、地域とともに新時代の社会で活躍できる人材を輩出する学校を目指しています。Society5.0 の新しい社会に必要な資質能力の育成を目指して、地域との連携を更に進め、仲間とともに目的に向かって協働する態度を身につけます。
○ 系列	◆ 文理アドバンス系列 文系教科または理系教科を中心に広い視野で仲間とともに学習し、大学・短期大学・看護医療系専門学校へ進学できる力を身につけます。地域の人から学んだり、実際に地域で体験したり、看護医療専攻では医療機関と連携をするなどし、社会で活躍できる力を身につけます。 ◆ 総合ビジネス系列 ビジネスの基礎を学習することで、将来即戦力として地域や企業で活躍できる力を身につけます。情報処理検定などの資格を取得し、進路実現にいかします。地域観光資源について調査・分析・課題解決策を提案することで、地域の活性化に貢献できる力を身につけます。 ◆ 健康スポーツ系列 健康・スポーツの専門的な学習をすることで、健康を維持し、スポーツに積極的に関わる姿勢を身につけます。地域と連携し、健康・スポーツの大切さを発信し、健康増進のリーダーとして社会で活躍できる力を身につけます。 ◆ 表現デザイン系列 絵画・演奏研究・ファッション・映像などの専門的な学習を通して、創造力や自己表現力を身につけます。学習成果を地域に発信し、文化の担い手となれる力を身につけます。
○ キャリア教育	1 年次「産業社会と人間」、2・3 年次「総合的な探究の時間」を通じて、生徒の主体的な進路実現ができるようきめ細かな指導を行います。生徒の進路先は、進学が約 7 割、就職が約 3 割であり、総合学科の特色ある学びのシステムにより、幅広い進路実現を可能にしています。
○ 部活動	「吹奏楽」「美術」「放送」「新聞」「茶華道」「ESS」「ワープロ」「ヒューマンライツ」「漫画研究」などの文化部、運動部についても充実した施設設備を活用して「柔道」「新体操」「野球」「サッカー」「テニス」「ハンドボール」「バスケットボール」「バレーボール」「卓球」「剣道」「陸上競技」など、人間性と競技力の向上を目指して日々活動に励んでいます。

選抜において重視する要件	
(総合的観点)	○ 学校生活 本校の教育活動全般に対して強い興味・関心をもち、入学後、積極的・意欲的に学校生活を送る意志のある者
(個別観点)	○ 学習について 国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語、芸術、保健体育、商業、情報、家庭等の各教科に強い関心をもち、得意分野の学習活動に意欲的に取り組む者 ○ スポーツ・文化活動等について スポーツ・文化活動等に積極的に取り組んでおり、入学後もその活動を継続して行う意志のある者 ○ 地域活動・人権活動等について 地域活動や生徒会活動、学級活動、ボランティア活動または人権活動等に積極的に取り組める者 ○ 進路について 将来、地域社会の一員として地域の活性化や社会貢献をする意欲をもち、向上心をもって自分の夢や目標の実現に努力する者

《名張高等学校》

学 科 名	検 査	実 施 概 要
総合学科	面 接	個人面接（１０分程度） 志望動機、学校生活への意欲、自己アピール等について応答する。
	学力検査	数学、英語

学 科 名	選 抜 方 法
総合学科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。 評定（第１～３学年の各教科の評定を換算） スポーツ・文化活動等の実績等 合 計 4 5 点満点 最高 5 点 5 0 点 (2) 面 接 A、B、C、Dの４段階で評価する。 (3) 学力検査 1 0 0 点（数学5 0 点、英語5 0 点）
	2 選抜方法 (1) 第１段階 調査書得点等によりおよそ募集人数に当たる数の者を選ぶ。選ばれた者のうち、面接の評価がC段階以上かつ学力検査得点の順位が募集人数のおよそ9 0 %以内であることの両方の条件を満たす者 (2) 第２段階 第１段階で合格となった者を除く全ての受検者

《名張青峰高等学校》

学 校 の 特 色
名張青峰高等学校は、いずれも単位制の仕組みによる「普通科」と「普通科・文理探究コース」を設置し、生徒一人ひとりの自己実現と進路実現を図ります。 「普通科」は、多様な選択科目を開講し、幅広い生徒の興味・関心・進路に対応します。 「普通科・文理探究コース」は、探究的活動を重視した授業や放課後・休業中のセミナー、自習室開放等により、国公立大学等への進学を目指します。 名張青峰高等学校では、Chromebook をはじめとする充実したＩＣＴ環境を活用した授業、海外の姉妹校や留学生との交流等のグローバル教育、人権尊重をベースとした協働的・主体的学習態度の育成などにより、「未来を拓く力」「グローバル化社会で活躍する力」「人とつながる力」を育成します。

選抜において重視する要件
〔普通科、普通科・文理探究コース共通〕 ○ 志望動機が明確で、高校生活にしっかりとした目的意識をもっている者 (普通科) ○ 勉学をはじめ、スポーツ・文化活動や生徒会活動または人権活動等に積極的に取り組んでおり、入学後それらの活動に継続して意欲的に取り組める者 ○ 上級学校への明確な志望動機をもち、入学後各教科の学習に意欲的に取り組める者 (普通科・文理探究コース) ○ 国公立大学や難関私立大学等への明確な志望動機をもち、入学後各教科の学習に意欲的に取り組める者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	面 接	集団面接（１グループ２０分程度） 進路に関する目的意識、学習に関する関心・意欲、規範意識、中学校時代の諸活動、入学後の学校生活の目標等について応答する。
	学力検査	数学、英語
普通科・ 文理探究 コース	学力検査	数学、英語

学 科 名	選 抜 方 法
普 通 科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。（第３学年の評定の合計４５点満点） (2) 面 接 Ａ、Ｂ、Ｃの３段階で評価する。 (3) 学力検査 １００点（数学５０点、英語５０点）
	2 選抜方法 (1)と(3)の点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項、面接の評価を考慮して総合的に選抜する。
普通科・ 文理探究 コース	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。（第１～３学年の評定の合計１３５点満点） (2) 学力検査 １００点（数学５０点、英語５０点）
	2 選抜方法 (1)と(2)の点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《松阪高等学校》

学 校 の 特 色
明治43年に創立した飯南女学校を前身として、松阪市民から「南高（ナンコウ）」または「松高（マツコウ）」と親しまれている歴史と伝統のある学校です。生徒のほとんどが大学等に進学し、その中でも四年制大学への進学が圧倒的に多く、充実した学習指導と的確な進路指導のもとで、生徒の自己実現に必要な力を養うことができます。授業は、「学問のおもしろさや楽しさ」を体感できるように工夫されており、自らの興味や関心を深め、目的を持った大学選びにつながるようになっています。 文部科学省よりSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定を受け、課題発見・課題解決能力の育成をととして主体的、対話的で深い学びを行います。この探究活動の中で、大学の先生の講話を聞いたり、大学や研究施設とも連携をします。そこから、「何のために学ぶのか」という問いに対する答えを自らが追求し、自分の将来について考える機会を多く持つようになっています。授業改善を図り、授業内容を充実するとともに、授業時間もしっかりと確保しています。また、土曜講座を開催し、課外学習体制も充実しています。 生徒一人ひとりの個性を大切にし、自ら考え、自ら行動できる人を育てることを教育目標とし、学習にも部活動にも一生懸命に取り組むことができる学校です。

選抜において重視する要件
（理数科） ○ 将来を担うリーダーとして社会貢献できる「高い志と夢」を有し、難関国公立大学や医学部への進学を希望し、全ての教科に強い興味・関心をもって意欲的に取り組むことができる者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
理 数 科	学力検査	数学、英語

学 科 名	選 抜 方 法
理 数 科	1 選抜資料の取扱い （1）調 査 書 点数化する。（第3学年の各教科の評定の合計 45点満点） （2）学力検査 200点（数学50点、英語50点をそれぞれ2倍する） 2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 （1）第1段階 調査書得点と学力検査得点の合計点数の順位が募集人数のおよそ90%以内である者 （2）第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者

《松阪工業高等学校》

学 校 の 特 色
明治35年に当時全国唯一の応用化学専攻の三重県立工業学校として開校した伝統ある学校です。 創立当時の木造校舎の外壁は、実験の影響で黒変することのないようにと朱色に塗装されていました。この外壁に由来する校訓「赤壁魂」（せきへきたましい）とは、本校生徒が学校生活を通して積極的に自己の人格を高め、勉学に励み、知識・技術を身につけて「社会に必要とされる人間になれ」という、創立当初からの松工精神を伝える言葉です。 創立以来、常に時代に即し、充実した工業教育が行われ、二万人を超える先輩が産業界をはじめ各界で活躍しています。 工業化学科は、創立以来の伝統を引き継ぎ、県内だけでなく全国へ優秀な人材を送り出しています。 機械、自動車の2学科も、それぞれ県内の工業高校の中で最も早く設置され、伝統と実績を誇っています。 電気工学科は、電気主任技術者の資格取得者数で、全国の高校で常に上位の実績があります。 繊維デザイン科は、繊維のみならず幅広くデザイン、美術、工芸の学習ができる学科であり、多くの美術系大学への進学実績があります。 また、各種の資格取得生徒数は、全国工業高校の中で常に上位に入る実績があります。

選抜において重視する要件
〔機械科、電気工学科、工業化学科、繊維デザイン科、自動車科共通〕 ○ 勉学をはじめ、部活動または生徒会活動等に興味と意欲をもっている者 （機械科） ○ ものづくりに興味・関心があり、資格取得にも積極的に取り組める者 （電気工学科） ○ 身の回りの電気や電化製品に興味・関心があり、将来技術者を目指している者 ○ 資格取得によって、自分の力量を高めていきたいという意欲のある者 （工業化学科） ○ 化学実験や物質の成り立ちに興味・関心があり、ものづくりや資格取得に積極的に取り組める者 （繊維デザイン科） ○ デザインや美術・工芸に関する興味・関心があり、専門的な知識・技能を身につけたい者 （自動車科） ○ 専門的な知識や技術の習得及び資格取得に積極的に取り組める者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
機 械 科 電 気 工 学 科 自 動 車 科	面 接	集団面接（1グループ20分程度） 専門学科に関する興味・関心、意欲について応答する。 勉学をはじめ部活動または生徒会活動等に関する興味と意欲について応答する。 学校が用意したホワイトボード（A3サイズ）を用いて意見を述べる質問も行う。
	作 文	60分・2題・各300字程度
工業化学科	面 接	集団面接（1グループ20分程度） 専門学科に関する興味・関心、意欲について応答する。 勉学をはじめ部活動または生徒会活動等に関する興味と意欲について応答する。
	作 文	60分・2題・各300字程度
繊維デザイン科	面 接	個人面接（10分程度） デザインや美術、工芸等の創造的な仕事、自己表現やものづくりに関する興味・関心、意欲について応答する。個人作品の持ち込み可。
	実技検査	鉛筆デッサン（休憩を含む120分） 用具：鉛筆、消しゴム（練り消しゴム可）、鉛筆削り用カッターナイフ（受検者が持参） 用紙：B3ケント紙（高等学校で用意）

《松阪工業高等学校》

学 科 名	選 抜 方 法
機 械 科 電 気 工 学 科 工 業 化 学 科 自 動 車 科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。 評定（第3学年の各教科の評定の合計を2倍） 90点満点 評定以外の記載事項 最高 20点 合 計 110点 (2) 面 接 次の5つの項目について評価し、点数化する。（30点満点） ・ 志望の動機、目的意識 ・ 学科の内容への興味・関心 ・ 中学校での活動 ・ 高校生活への意欲 ・ 面接態度 (3) 作 文 次の4つの項目について評価し、点数化する。（20点満点） ・ 課題に即した内容 ・ 表現、展開の適切さ ・ 学科に対する興味・関心 ・ 表記の正確さ 2 選抜方法 (1)～(3)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。
繊維デザイン科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。（第3学年の各教科の評定の合計 45点満点） (2) 面 接 A、B、Cの3段階で評価する。 (3) 実技検査 15点 2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 面接の評価がB段階以上であることと、調査書得点と実技検査得点の合計の順位が募集人数の80％以内であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者

《松阪商業高等学校》

学 校 の 特 色
本校は大正9年の創立以来、地元松阪に根ざした商業高校として幾多の歴史を刻んできました。また、単位制専門高校としての特色を活かして、生徒一人ひとりが自らの興味や関心・適性に応じた多様な科目選択を行い、進路実現を図れるように取り組んでいます。 令和4年度からは、「商業」に関する2つの学科（総合ビジネス科、国際ビジネス科）に改編をおこない、引き続き生徒一人ひとりが多様な選択を行い、希望の進路実現を目指していきます。 ○ 総合ビジネス科は、商業科目が充実しており、情報（IT）に関する科目も豊富な学科です。1年次は商業や情報全般の基礎を身につけ、2年次からは自分の興味・関心や進路実現を考えて「簿記会計」「ビジネスマネジメント」「ビジネス情報」から一つの分野を選択し、専門性を伸ばすことができます。生徒は各種資格の取得に積極的に取り組み、それを進学や就職に活かします。 ○ 国際ビジネス科は商業や情報の基本的な科目に加え、英語にも力を入れている学科です。1～2年次で商業や情報全般の基礎を学ぶとともに、英語ではティームティーチングや少人数授業により英語活用能力（4技能5領域）を向上させ、社会で活かせる知識・技能を身につけることができます。英語科目が充実しており、生徒は商業と英語活用能力を伸ばしながら各種資格の取得に取り組み、それを進学や就職に活かします。 どちらの学科も、商業高校ならではの学習をつみあげ、仕事だけでなく日常生活にも役立つ知識や技術を育てることができます。また、学校行事や部活動といった諸活動と、資格や検定の取得、進路実現にむけた勉強を両立することで、社会で役立つ力の育成を見据えた学習をすすめています。

選抜において重視する要件
〔総合ビジネス科、国際ビジネス科共通〕 ○ 入学後も学習活動・部活動等に意欲的に取り組む者 ○ 進路実現に向けて、資格取得等に積極的に取り組む者 （総合ビジネス科） ○ 簿記やコンピュータ、経済等商業全般の学習、もしくは商業に加えてプログラミングやネットワーク等情報技術の学習に興味・関心がある者 （国際ビジネス科） ○ 簿記やコンピュータ、観光、地域活性化等商業に関する知識・技術の習得とともに、英語の学習や国際理解に興味・関心がある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
総合ビジネス科 国際ビジネス科	面 接	集団面接（1グループ20分程度） 志望動機、学科に関する興味・関心や理解、高校生活への意欲、目的意識等について応答する。
	作 文	60分・600～800字

学 科 名	選 抜 方 法						
総合ビジネス科 国際ビジネス科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。 <table><tr><td>評定（第3学年の各教科の評定の合計）</td><td>4 5 点満点</td></tr><tr><td>評定以外の記載事項</td><td>最高 1 0 点</td></tr><tr><td>合 計</td><td>5 5 点</td></tr></table> (2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (3) 作 文 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。	評定（第3学年の各教科の評定の合計）	4 5 点満点	評定以外の記載事項	最高 1 0 点	合 計	5 5 点
	評定（第3学年の各教科の評定の合計）	4 5 点満点					
評定以外の記載事項	最高 1 0 点						
合 計	5 5 点						
	2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の80％以内であることと、面接と作文の評価がともにB段階以上であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 調査書得点の順位が募集人数の100％以内であることと、面接と作文の評価がともにB段階以上であることの両方の条件を満たす者 (3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者						

《飯南高等学校》

学 校 の 特 色	
本校は、連携型中高一貫教育やキャリア教育のこれまでの様々な取組をととして、毎年着実に進化を続け、大きくレベルアップしてきました。生徒は、周りの人を思いやる優しい心と基礎・基本の学力をしっかりと身につけたうえで、各々の興味・関心、意欲をのばしていく探究的な学びを実践しています。このことは、本校教育の柱になっています。1年次は、「産業社会と人間」において、多くの体験学習を通じて自分自身を発見し、自己の生き方を模索しながら次年度に学ぶ学習内容を決め、系列を選択します。2年次は、選択した系列学習に取り組むとともに、「キャリアデザイン」等をととして進路についてじっくり考えます。3年次は、「いいなんゼミ」で3年間の集大成として各々が学習した内容を発表するとともに、進路実現につなげます。このように3年間の系統立ったキャリア教育をととして、自分が興味・関心のある学習に取り組みながら、「生きる力」を磨き、社会的に自立した人間を目指しています。 本校は、この学びによって社会に出た時に本当に役に立つ力をつけていく学校、一人でも多くの生徒が「飯南高校に来て良かった」と感じて卒業してもらう学校を目指しています。 このように本校では、生徒一人ひとりの成長を支援するとともに、一人ひとりが目標をもって学ぶことにより、活発な教育活動を展開しています。生徒も教職員も生き生きとし、地域からも必要とされる学校を目指しています。	

選抜において重視する要件
(総合学科) ○ 総合学科の学習活動を主体的、積極的、継続的かつ誠実に行える者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
総合学科	面 接	個人面接（10分程度） 本校総合学科の学習に関する興味・関心、意欲等について応答する。
	作 文	50分・3題・200字程度

学 科 名	選 抜 方 法
総合学科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。(第1～3学年の各教科の評定の合計 135点満点) (2) 面 接 次の3つの観点により評価する。(A、B、C、Dの4段階で評価する) ・ 本校を志望する動機、目的意識が明確か。 ・ 学科の内容についての理解ができているか。 ・ 面接態度(応答の的確さ、明瞭さなど)が良好であるか。 (3) 作 文 次の3つの観点により評価する。(A、B、C、Dの4段階で評価する) ・ 本校を志望する動機、目的意識が明確か。 ・ テーマに沿って適切に書かれているか。 ・ 表現・表記が適切であるか。
	2 選抜方法 (1)～(3)をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《相可高等学校》

学 校 の 特 色
普通科、生産経済科、環境創造科、食物調理科の4学科をもつ総合高校として、各学科の特色を生かしながら、「生徒の夢をかなえ、地域と共に歩む学校」を教育理念に、意欲と活力ある学校を目指しています。 普通科は、単位制を導入し、興味・関心、将来の進路希望に応じた多様な選択科目の中から学ぶことができます。また、課外指導、習熟度別授業などきめ細かい指導を行っています。従来のアドバンストクラスで培ったノウハウや指導を普通科2クラスに行い、国公立大学をはじめとした四年制大学や専門学校への進学、官公庁や一般企業への就職など、それぞれの進路に応じたカリキュラムにより、多様な進路希望の実現を図っています。 生産経済科では、動植物の「生産」に加え、それらを「福祉」や「環境保全」にも応用する「流通」や「経済」を学びます。また、人や環境に優しい産業人の育成を目指し、「園芸福祉」活動にも力を入れています。これらの学習を、地元企業との共同商品開発や大学との共同研究、地域の保育園や社会福祉施設等への訪問など、実践活動として行っています。総合実習と専攻実習では、「園芸」「松阪牛」「果樹」「作物」の4部門で専門的な知識・技術を学びます。 環境創造科は、生活の基盤を支える「まちづくり」と「国土保全」を基本にしながら、人々が自然と共存していくための循環型社会の形成を目標に、新たな環境を創造していくことができる技術者の養成を目指して、平成21年度に農業土木科から学科改編しました。「専門的な知識・技術を身につけ、進路保障につなげる」という教育目標を堅持しながら、国公立大学等への進学や、国家・地方公務員への就職を目指し、社会に貢献できる専門的人材の育成を行っています。また、資格取得を目標に学ぶことによって、『自ら学ぶ力』の育成を行っています。 食物調理科は、食のリーダーの育成を目指します。県内の高校で唯一、卒業と同時に調理師免許が取得できる「調理師コース」と、製菓・製パンを中心に学習し、希望者は製菓衛生師の資格を取得できる「製菓コース」があり、1年次より各コースに分かれて学習します。コースの入学定員として、「調理師コース」は免許が取得できる20人を上限とし、「製菓コース」は20人程度としています。全国的にも注目されている研修施設「まごの店」「まごの店スイーツ」では、休業日を利用しながら調理・製菓から接客・販売に至る店の経営等について総合的・実践的に学んでいます。

選抜において重視する要件
(普通科) ○ 高い志を持ち、希望進路の実現に向けて意欲を持って持続的に学習に取り組む者 ○ 部活動や生徒会活動または地域との連携等に意欲的に取り組む意志のある者 (生産経済科) ○ 農業・環境・福祉に関して興味・関心、意欲があり、将来、就農を志す者または関連する分野への進学や就職を強く希望する者 ○ 各種検定や資格取得に意欲のある者 ○ 部活動や生徒会活動または地域との連携等に意欲的に取り組む意志のある者 (環境創造科) ○ 専門分野の学習に興味・関心、意欲があり、明確な進路希望をもち、その実現に向けて意欲的に学習に取り組む者 ○ 各種検定や資格取得に意欲のある者 ○ 部活動や生徒会活動または地域との連携等に意欲的に取り組む意志のある者 (食物調理科) ○ 食物に関する分野で、特に調理、製菓に興味・関心、意欲があり、高度な知識・技術を習得し、将来、食に関する分野への進路を強く希望する者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	面 接	個人面接（7分程度） 中学校生活、志望動機、進路希望や進路に対する意識、目的意識、学習や部活動等への意欲等について応答する。
	学力検査	国語
生産経済科	面 接	個人面接（7分程度） 生産経済科への志望動機、学習したい専門分野の内容、取得したい資格、将来の進路について応答する。また、農業・環境・福祉分野に関する興味・関心や基礎的な知識について応答する。
	作 文	45分・2題・各200字程度
環境創造科	面 接	個人面接（7分程度） 志望動機、将来像、中学校で培ったもの、資格取得等について応答する。
	学力検査	国語

《相可高等学校》

学 科 名	検 査	実 施 概 要
食物調理科	面 接	個人面接（7分程度） 食物調理科で学びたいことや、将来への夢について応答する。
	小 論 文	45分・400字程度 「食」に関連した内容について自分の考えを述べる。
	グループ 討議	グループに分かれて討議を行う。（1グループ40分程度） 食産業を担う職業人に求められるコミュニケーション力をみる。 ① 与えられた食に関する課題について、自分の意見を述べる。 ② 他の発表者の意見に対し、感想や意見を述べる。

学 科 名	選 抜 方 法
普 通 科 環境創造科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。(第1～3学年の各教科の評定の合計 135点満点) (2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (3) 学力検査 国語(50点満点)の得点をA、B、C、D、Eの5段階で評価する。
	2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の70%以内であることと、面接及び学力検査(国語)の評価が全てC段階以上であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 面接及び学力検査(国語)の評価が全てC段階以上である者のうち、調査書の記載事項において「選抜において重視する要件」に特に合致していると認められる者 (3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者
生産経済科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。(第1～3学年の各教科の評定の合計 135点満点) (2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (3) 作 文 A、B、Cの3段階で評価する。
	2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の70%以内であることと、面接の評価がC段階以上及び作文の評価がB段階以上であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 面接の評価がC段階以上及び作文の評価がB段階以上である者のうち、調査書の記載事項において「選抜において重視する要件」に特に合致していると認められる者 (3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者
食物調理科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。(第1～3学年の各教科の評定の合計 135点満点) (2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (3) 小 論 文 A、B、Cの3段階で評価する。 (4) グループ討議 A、B、Cの3段階で評価する。
	2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 コースについては、出願時に希望を入力する。各コース、入学定員をふまえ希望者を優先的に選抜し、コース別に合格内定する。(各コースの希望人数によっては、希望以外のコースに合格内定することがある。) (1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の70%以内であることと、面接の評価がC段階以上、小論文及びグループ討議の評価がB段階以上であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 面接の評価がC段階以上、小論文及びグループ討議の評価がB段階以上である者のうち、調査書の記載事項において「選抜において重視する要件」に特に合致していると認められる者 (3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者

学 校 の 特 色

- 総合学科、全寮制などの特色を生かして次のような人材育成を目指しています。
 - ・ 卒業後に社会で活躍できるように主体的に行動できる人材の育成
 - ・ 何事にも誠実にかつ意欲的に取り組むとともに、思いやりをもって人と接することができる人材の育成
 - ・ 地域との連携を深め、地域から信頼されるとともに地域から必要とされる人材の育成
- 本校は平成7年に設立された全国で唯一の全寮制総合学科高校です。（大台町、大紀町、多気町に在住の生徒は通学も可能です。）
- 1年次は共通の科目を履修し、自分の適性や進路について考えます。2年次以降は「地域探究」「総合スポーツ」「美術工芸」「生活福祉」「環境技術」の5系列に分かれ、興味・関心のあることを学び、進路実現につなげます。
- 身近な地域を学習フィールドとし、グループ学習等を通して、自らの生き方を探究することができます。その他にも、小中学校への授業など、地域との交流が多くあります。
- 寮では規律ある集団生活のもとで生活を送ることができます。また、行事やサークル活動など生徒を中心とした自主的な活動が行われています。学校まで徒歩1～2分であるため、放課後は部活動や学習、趣味などに没頭できる時間が多く確保できます。

このような特色ある独自の教育システムと取組を通じて、生徒の自主性・自律性・協調性などを育みながら、個性と能力を伸ばす教育を行っています。

(総合学科)

- 本校の学習に強く興味・関心をもち、主体的に学習に取り組める者
- スポーツ活動・文化活動・生徒会活動等に積極的に取り組める者
- 寮・学校において協調性をもち、規律正しい集団生活をしていける者

学 科 名	選 抜 方 法
総合学科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。 評定（第1～3学年の各教科の評定を換算） 4 5 点満点 評定以外の記載事項 最高 1 0 点 (2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (3) 作 文 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。
	2 選抜方法 (1)～(3)をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《明野高等学校》

学 校 の 特 色
本校は、創立以来１４６年という長い歴史を有し、農業関係学科と家庭関係学科を中心に発展してきました。地域の活性化に貢献できる人材の育成を目指し、また、社会の変化に対応できるグローバル人材の育成を目指しています。 特に、農業関係学科である生産科学科、食品科学科は、農業や関連産業に必要な知識・技術を身に付け、諸問題を合理的に解決する科学的な思考力を高め、様々な進路に対応できる学科となっています。生活教養科や福祉科も、それぞれの特色に合わせて充実した内容となっています。 本校では、広大な敷地と緑豊かな学習環境の中で、資格取得を目指して生徒たちが意欲的に学習や課題研究に取り組んでいます。 また、放課後の部活動に取り組む生徒や、農業クラブ・家庭クラブなどの活動を通して地域連携に励む生徒など、様々な分野に精力的に取り組み、明るく活気のある生徒がたくさんいます。

選抜において重視する要件
〔生産科学科、食品科学科、生活教養科、福祉科共通〕 ○ 学習内容に対して興味・関心を持ち、学習に意欲的・持続的に取り組める者 ○ 部活動や生徒会活動等に積極的に取り組める者 (生産科学科) ○ 動植物の飼育・栽培及び農業に関連した職業に興味・関心・意欲があり、資格取得に積極的に取り組むとともに、将来、その関連分野への進路を強く希望する者 (食品科学科) ○ 食品に関して安全・栄養・製造・流通・開発に興味・関心・意欲があり、資格取得に積極的に取り組むとともに、将来、その関連分野への進路を強く希望する者 (生活教養科) ○ 衣生活・食生活に関する学習に興味・関心・意欲があり、資格取得に積極的に取り組むとともに、将来、その関連分野への進路を強く希望する者 (福祉科) ○ 子ども・介護・障がい等の福祉分野に興味・関心・意欲があり、資格取得に積極的に取り組むとともに、将来、その関連分野への進路を強く希望する者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
生産科学科 食品科学科 生活教養科 福祉科	面 接	個人面接（１０分程度） 志望動機、学科の内容、意欲・熱意について応答する。
	作 文	４５分・５５０～６５０字

学 科 名	選 抜 方 法
生産科学科 食品科学科 生活教養科 福祉科	１ 選抜資料の取扱い (１) 調 査 書 点数化する。（第１～３学年の各教科の評定の合計 １３５点満点） (２) 面 接 A、B、C、D、Eの５段階で評価する。 (３) 作 文 A、B、C、D、Eの５段階で評価する。 ２ 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (１) 第１段階 調査書得点の順位が募集人数の８０％以内であることと、面接と作文の評価がともにＢ段階以上であることの両方の条件を満たす者 (２) 第２段階 面接と作文の評価がともにＢ段階以上の者のうち、「選抜において重視する要件」に合致すると認められる者 (３) 第３段階 第１段階及び第２段階で合格となった者を除く全ての受検者

《宇治山田高等学校》

学 校 の 特 色
宇治山田高等学校は、旧制宇治山田中学校と宇治山田高等女学校を前身とする創立１２７年の伝統ある高校です。卒業生は３万人を超え、三重県内だけでなく、日本各地や世界中で活躍しています。この輝かしい歴史と伝統を大切にしながら、中学生や保護者及び地域の期待に応えるため、学校改革を大胆に実行し、新しい「山高」の歴史を創造していきます。本校が学校づくりを進めるにあたって、目標としているのは以下の３点です。 1 国公立大学をはじめとする進学希望を実現する学校であること 2 勉学とスポーツ・文化活動等の両面で充実感が得られる学校であること 3 生徒が持っている可能性を伸ばし、実社会で活躍できるリーダーを育成する学校であること

選抜において重視する要件
(普通科) ○ 中学校における各教科の学習成績が良好であり、国語、社会、数学、理科及び英語の５教科において特に高い能力を有する者 ○ 本校への明確な志望動機をもち、入学後は進路目標の達成やスポーツ・文化活動等に積極的に取り組む者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	学力検査	数学、英語

学 科 名	選 抜 方 法
普 通 科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。 (第３学年の国語・社会・数学・理科・英語の５教科の評定の合計 ２５点満点) (2) 学力検査 １００点（数学５０点、英語５０点） 2 選抜方法 (1)と(2)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《宇治山田商業高等学校》

学 校 の 特 色
「部活動が盛ん」で「就職に強い」という山商の伝統は従来から変わっていません。卒業生は就職先からの高い評価をもらっています。 「進学にも強い」これが山商のもう一つの特色です。現在は70%を超える生徒が進学し、そのうち多くの生徒が国公立大学・難関私立大学を含む四年制大学に進んでいます。大学に進むほとんどの生徒は、山商で取得する簿記や情報、英語の検定資格を生かして学校推薦型選抜や総合型選抜で進学しています。 山商の生徒は、普段の授業を大切にしながら勉強と部活動を両立させながら、希望する進路を実現しています。そして、みんなが明るく挨拶を交わしあい、楽しく充実した高校生活を送ることができる学校です。

選抜において重視する要件
〔商業科、情報処理科、国際科共通〕 ○ 学習成績に優れ、入学後も高い学習意欲を維持できる者 ○ 探究活動に意欲的に取り組むことができる者 ○ 学科の特性を生かして大学進学・就職等の進路希望を実現しようとする者 ○ スポーツ・文化活動やボランティア活動または生徒会活動等に意欲をもって取り組む姿勢を有する者 (商業科) ○ 商業の学習に興味と関心を有する者 ○ 簿記をはじめとする各種検定の取得に取り組む意欲を有する者 (情報処理科) ○ コンピュータの学習に興味と関心を有する者 ○ 情報、簿記等の各種検定の取得に取り組む意欲を有する者 (国際科) ○ 英語学習への意欲にあふれ、強い興味を有する者 ○ 英語、簿記等の各種検定の取得に取り組む意欲を有する者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
商 業 科 情報処理科	面 接	集団面接（1グループ20分程度） 志望動機、期待する高校生活、中学校時代の活動状況等について応答する。
	学力検査	国語
国 際 科	面 接	集団面接（1グループ20分程度） 志望動機、期待する高校生活、中学校時代の活動状況等について応答する。
	学力検査	英語

学 科 名	選 抜 方 法	
商 業 科 情報処理科 国 際 科	1 選抜資料の取扱い	
	(1) 調 査 書 点数化する。	
	評定（第1～3学年の各教科の評定を換算）	7 0 点満点
	スポーツ・文化活動の実績等、資格等	最高 2 0 点
	合 計	9 0 点
	(2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。	
	(3) 学力検査 5 0 点	
	2 選抜方法	
	次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。	
(1) 第1段階 面接の評価がC段階以上である者のうち、調査書得点の順位が募集人数のおよそ100%以内であることと、学力検査得点の順位が募集人数のおよそ80%以内であることの両方の条件を満たす者		
(2) 第2段階 面接の評価がC段階以上である者のうち、調査書得点の順位が募集人数のおよそ100%以内であることと、学力検査得点の順位が募集人数のおよそ90%以内であることの両方の条件を満たす者		
(3) 第3段階 第1段階及び第2段階で合格となった者を除く全ての受検者		

《伊勢工業高等学校》

学 校 の 特 色
南勢地区唯一の施設・設備の整った工業専門高校として、「人づくり」と「ものづくり」をキーワードとし、基本的な生活習慣を身につけた社会常識のある明るく素直で積極的な生徒の育成と、産業界から求められる確かな技術・技能を修得するため、意欲的に励む生徒の育成を目標としています。 実験・実習においては10人で1班の少人数指導を実施しています。また、2年次からは進学コースと専門コースに分かれて学習するコース制を導入し、さらに各種資格取得のための個別指導を行い、個人の特性を伸ばす工夫をしています。部活動も盛んで、毎年全国大会に出場するなど、各種大会に参加して好成績を収めています。

選抜において重視する要件
〔機械科、電気科、建築科共通〕 ○ 学習活動に意欲的である者 ○ スポーツ等において優れた実績や能力があり、入学後も意欲的に取り組むことができる者 ○ 生徒会活動や学級活動またはボランティア活動などに積極的に取り組むことができる者 ○ 志望動機が明確で、目的意識をもった者 ○ 基本的な生活習慣が身についている者 ○ 将来の夢に向けて、チャレンジする向上心がある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
機 械 科 電 気 科 建 築 科	面 接	個人面接（5～7分程度） 志願学科に対する興味・関心、意欲、目的意識等について応答する。
	作 文	50分・1項目のテーマに対し、550～600字

学 科 名	選 抜 方 法
機 械 科 電 気 科 建 築 科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。（第1～3学年の各教科の評定の合計 135点満点） (2) 面 接 次の項目について、A、B、Cの3段階で評価する。 志望動機、適性と興味・関心、学習意欲、リーダー的素質、態度等 (3) 作 文 A、B、Cの3段階で評価する。 2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 調査書得点の順位が募集人数の60%以内であることと、面接と作文の評価がともにB段階以上であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 調査書得点の順位が募集人数の100%以内であることと、面接と作文の評価がともにB段階以上であることのいずれかの条件を満たす者のうち、調査書の記載事項においてスポーツ・文化活動等の実績が顕著であると認められる者 (3) 第3段階 第1段階及び第2段階において合格となった者を除く全ての受検者

《南伊勢高等学校》

学 校 の 特 色
南伊勢高等学校は、「自らの力で自分の将来を切り開き、地域社会に貢献する“ひと”を育成する学校」をめざしており、「育みたい生徒像」として、 ○ 自立に向け、基本的生活習慣と基礎学力を身につけた生徒 ○ 自分の夢を明確にし、希望する進路に向け、自ら努力し続ける生徒 ○ 自他の命を尊重し、差別をなくす実践力と高い自己肯定感を有する生徒 の3点を掲げています。 このような生徒を育成するため、小規模校であるという特性を活かして、一人ひとりの能力や個性に応じたきめ細やかな教育を行うこと大切にしています。また、恵まれた自然環境の中ならではの学習活動や、地域の方々や関係機関の支援をいただきながら、地域について学び、地域と連携し、支え合う取組を大切にしています。 こうした学びを通じて、生徒たちは、大学・短大への進学や公務員試験合格、あるいは各種企業への就職をめざし、日々努力しています。

選抜において重視する要件
(普通科) ○ 目的意識を明確にもち、自己実現に向けて意欲的に取り組む者 ○ 体験学習など、地域に根ざした教育活動に積極的に取り組む意欲のある者 ○ スポーツ・文化活動やボランティア活動または生徒会活動等に積極的に取り組む意欲のある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	面 接	個人面接（10分程度） 中学校での活動、「選抜において重視する要件」に係る目的意識や意欲等について応答する。
	作 文	45分・500～600字

学 科 名	選 抜 方 法	
普 通 科	1 選抜資料の取扱い	
	(1) 調 査 書 点数化する。	
	評定（第1～3学年の各教科の評定の合計）	1 3 5 点満点
	評定以外の記載事項	最高 1 5 点
	合 計	1 5 0 点
	(2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。	
	(3) 作 文 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。	
	2 選抜方法	
	(1)の点数と面接及び作文の評価をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項等を考慮して総合的に選抜する。	

《鳥羽高等学校》

学 校 の 特 色
総合学科の特色を生かして、将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深めさせる学習を進めています。また、生徒の個性を生かした主体的な学習を通して、学ぶことの楽しさや達成感を得られる授業を行っています。 本校では、2年次から下記の3つの系列に分かれ、一人ひとりの将来の自己実現を図ります。それぞれの系列では、学習分野ごとに科目がまとめられ、目標と適性に合わせた科目を選択できます。 ◇「観光ビジネス系列」は、観光に関わるビジネスの基礎を学び、学んだことを地域の中で実践します。また、卒業後に即戦力として活躍できるビジネスマナーの知識や技術を身につけます。 ◇「総合福祉系列」は、相手の立場に立って考え行動できる「福祉の心」を身につけるとともに、介護職員初任者研修の資格取得を目指します。 ◇「人文教養系列」は、地域の活性化や社会に貢献する人材を育成するため、地域をフィールドとした交流や体験学習を通じて、文系教科の学びを深めます。また、大学等への進学や公務員試験等の合格を目指します。

選抜において重視する要件
(総合学科) ○ 総合学科の学習内容に興味・関心があり、意欲を持って学習に取り組める者 ○ 学習を通して、積極的に進路実現を目指す者 ○ 規範意識や基本的な生活習慣を身につけ、学校生活に積極的に取り組める者 ○ 部活動またはボランティア活動等について、積極的に活動する意欲のある者 ○ 将来、地域社会で活躍し、地域に貢献しようとする意欲のある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
総合学科	面 接	個人面接（10分程度） 自己PRを含めた志望動機、中学校生活の振り返り、高校生活への抱負、将来の希望等について応答する。
	作 文	50分・2題・各250字以内

学 科 名	選 抜 方 法
総合学科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。(第3学年の各教科の評定の合計 45点満点) (2) 面 接 以下の点に留意して、A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 ・ 面接時の態度 ・ 自己PR、志望動機、本校への関心・意欲、将来への目標等 (3) 作 文 以下の点に留意して、A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 ・ 述べられている内容 ・ 文章の表現
	2 選抜方法 (1)の点数と面接及び作文の評価をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《志摩高等学校》

学 校 の 特 色
本校は生徒のほとんどが志摩市内の中学校出身であり、将来の志摩市を担う人材の育成のため、総合的な探究の時間「志摩学」を中心に、地域に根ざした教育活動を展開しています。また、振り返り学習の取組やＩＣＴを活用したわかりやすい授業づくりの取組等により、生徒は確かな学力を身につけながら、充実した高校生活を送っています。 生徒の進路希望が多様であることから、四年制大学等への進学をめざす類型や、社会で必要とされる基礎学力やスキルの修得をめざす教養類型を設置し、各類型の特色を活かしたきめ細かい指導により、生徒の希望実現につなげています。 また、学校行事等においては、学校、保護者、地域が一体となり、生徒一人ひとりを大切に教育を行っています。

選抜において重視する要件
(普通科) ○ 目的を持って学習する意欲のある者 ○ 興味関心を持った課題について探究しようとする者 ○ 基本的な生活習慣と思いやりの心が身についた者

学科・コース名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	面 接	個人面接（１０分程度） 志望動機、中学時代の活動及び高校生活への関心・意欲について応答する。
	作 文	４０分・４００字程度

学科・コース名	選 抜 方 法
普 通 科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。(第１～３学年の各教科の評定の合計 １３５点満点) (2) 面 接 A、B、C、D、Eの５段階で評価する。 (3) 作 文 A、B、C、D、Eの５段階で評価する。
	2 選抜方法 (1) 調査書の点数と(2)面接の評価及び(3)作文の評価をもとに調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《水産高等学校》

学 校 の 特 色	
水産高校は、創立124年の歴史を有し、水産・海洋系の実習を重視した専門教育を通して、地域産業を支える人材を育成しています。 (海洋・機関科) ○ 海洋コース 船舶の操縦技術を習得し、航海士を目指します。さらに、漁業やマリンスポーツを通して、海洋活動に関する幅広い知識と実践力を養います。 ○ 機関コース・水産工学コース 船の機関士としての専門知識に加え、工学・水産・商業など多分野にわたる学習を通して、産業界で求められる技術を身につけます。 (水産資源科) ○ アクアフードコース 水産物の加工・製造技術を学び、「食」に関する幅広い知識を習得します。持続可能な水産業を支える人材を育成します。 ○ アクアデザインコース 海洋生物の生産や飼育に関する知識を学び、養殖・加工技術を習得します。さらに、アクアリウム設計を通して、海洋環境への理解を深めます。 卒業後は、多くの生徒が在学中に習得した知識・技術や資格を生かし、希望する進路を実現しています。さらに、水産・海洋系の大学や専門学校へ進学する生徒もいます。本校専攻科では、航海実習や工場実習を通して上級海技士資格の取得を目指すことができます。	

選抜において重視する要件	
〔海洋・機関科、水産資源科共通〕 ○ 水産学科の内容に対して理解があり、本校への明確な志願理由をもつ者 ○ 他人を思いやる心と社会性をもち、校内外の自発的な活動に継続して取り組む意欲のある者 ○ 将来水産関連大学等への進学を志す者 ○ 学習に関連する様々な資格や検定を積極的に取得する意欲のある者 (海洋・機関科) ○ 船舶の運航や漁業に興味・関心があり、学校生活を意欲的に過ごせる者 ○ マリンスポーツなど広く海洋に関することに興味・関心があり、学校生活を意欲的に過ごせる者 ○ エンジンの運転操作や機械の構造に興味・関心があり、学校生活を意欲的に過ごせる者 (水産資源科) ○ 水産物の調理や加工、食品製造、食品衛生、商品の流通等に興味・関心があり、学校生活を意欲的に過ごせる者 ○ 海洋生物、海洋環境、魚類養殖・アクアリウム、真珠養殖等に興味・関心があり、学校生活を意欲的に過ごせる者 ○ 将来、水産増殖関連等の分野で活躍するために日常の学習に取り組める者	

学 科 名	検 査	実 施 概 要
海洋・機関科 水産資源科	面 接	個人面接（5～10分） 志望動機等について応答する。
	作 文	40分・400字程度

学 科 名	選 抜 方 法
海洋・機関科 水産資源科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。（第1～3学年の各教科の評定の合計 135点満点） (2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (3) 作 文 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。
	2 選抜方法 (1) 調査書の点数、(2)面接の評価、(3)作文の評価をもとに、「調査書」および「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《尾鷲高等学校》

学 校 の 特 色	
本校は、生徒がさまざまなことに興味をもち、自ら学ぼうとする「主体性」、自分自身が興味をもったことを突き詰める「探究力」、他者とのつながりを大切にし、他者から学び、互いを認め合う「寛容さ」、「主体性」「探究力」「寛容さ」を支える「健やかな心身」をはぐくみ、「未来を切り拓く、しなやかな人間力を備えた鷲高人の育成」に取り組む学校です。地域に唯一の高等学校として、進学にも就職にも対応できる、地域から信頼され愛され、選ばれる学校を目指しています。 また、令和9年度から入学定員の一部にフレキシブルスタイルを設けます。フレキシブルスタイルでは、全日制課程に在籍しながら、連携する本校の定時制及び松阪高等学校通信制の授業も履修できる柔軟な学習スタイルにより、学ぶことができます。	
(普通科) 主に大学(四年制大学、短大等)の文系学部への進学を目指す学科です。 習熟度に応じて学力を伸ばす授業を実施することで、希望進路の実現をはかります。	
(普通科・プログレッシブコース) 国公立大学や難関私立大学の各学部(文系・理系)及びその他の大学の理系学部への合格を目指すコースです。 目標達成や実力アップのために、 ① 授業の進度を早めることで早期から受験に備えることができます。 ② 全国模試による実力診断で自分の学習ペースが把握できます。 ③ 週2回の7限授業や補習などで生徒の学習をフォロー、バックアップします。	
(情報ビジネス科) 「ビジネス社会に即応できるスペシャリスト」を目指した商業に関する専門学科です。 豊富な実習を交え、簿記やコンピュータ等のビジネスに関する専門科目を学習することで、「働くための力」が身につきます。ビジネス関係・商業系の資格・検定に1年次から挑戦でき、取得した資格等を自らの進路希望実現に向けて活かすことができます。	
(システム工学科) 「ものづくりのスペシャリスト」を目指した工業に関する専門学科です。 実習形式の授業も豊富で、「働くための力」が身につきます。工業系の資格・検定に1年次から挑戦できます。学科の専門性を活かして、それぞれの希望進路実現に向けた学びができます。	

選抜において重視する要件	
(普通科) ○ 大学等への進学を希望し、普通科の教科に興味・関心をもって意欲的に取り組める者	
(普通科・プログレッシブコース) ○ 国公立大学・難関私立大学への進学を希望し、普通科の教科に興味・関心をもって意欲的に取り組める者	
(情報ビジネス科) ○ コンピュータ、ワープロ、簿記等のビジネスに関する学習に興味・関心があり、検定資格取得に意欲的に取り組める者 ○ 部活動や生徒会活動またはボランティア活動等に積極的に取り組む意欲を有する者	
(システム工学科) ○ 工業学科の学習に興味・関心があり、工業関係の資格取得に意欲的に取り組める者 ○ 部活動や生徒会活動またはボランティア活動等に積極的に取り組む意欲を有する者	

学科・コース名	検 査	実 施 概 要
普 通 科 普通科・ プログレッシブ コース	面 接	集団面接(1グループ15分程度) 志望動機、入学後や将来の目標等について応答する。
情報ビジネス科 システム工学科	学力検査	数学、英語

《尾鷲高等学校》

学科・ コース名	選 抜 方 法
普 通 科 普通科・ プログレッシブ コース	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。(第3学年の各教科の評定の合計 45点満点) (2) 面 接 次の4つの項目を中心に評価し、A、B、Cで評価する。 ・ 本校、本学科を志望する動機、目的意識 ・ 学科の内容についての理解 ・ 高校生活への意欲 ・ 面接態度(応答の的確さ、明瞭さなど) (3) 学力検査 100点(数学50点、英語50点) 2 選抜方法 (1)～(3)をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。
情報ビジネス科 システム工学科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。(第3学年の各教科の評定の合計を2倍 90点満点) (2) 面 接 次の4つの項目を中心に評価し、A、B、Cで評価する。 ・ 本校、本学科を志望する動機、目的意識 ・ 学科の内容についての理解 ・ 高校生活への意欲 ・ 面接態度(応答の的確さ、明瞭さなど) (3) 学力検査 100点(数学50点、英語50点) 2 選抜方法 (1)～(3)をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《熊野青藍高等学校》

学 校 の 特 色
持続可能な社会の一員として、ふるさとを想い、未来に希望を持って幸福を実現する人材を地域とともに育てます。 (普通科) ○ 幅広い学びで自己のキャリアを形成しながら、文系を中心とする私立大学や短大、看護専門学校、公務員、就職など、幅広い進路の実現を目指します。 (普通科・アドバンスコース) ○ 早期から発展的な学習に取り組み、主体的に学ぶ力を育成しながら、国公立大学や難関私立大学をはじめとする四年制大学全般への進学を目指します。 (総合学科) ○ 自らの興味・関心、進路希望や身に付けたい能力などに応じ、複数の科目の中から選択して学び、進学から就職まで幅広い進路の実現を目指します。 ○ 木本校舎では、国語・英語・理科などの「共通教科」やスポーツ・芸術系の専門科目などから幅広く選択して学ぶ「リベラルアーツ系列」と、実社会で役立つパソコン・会計系の専門科目を学ぶ「情報ビジネス系列」があります。 ○ 紀南校舎には、地域創造・文系科目や共通選択科目などから幅広く選択する「地域デザイン系列」と、ビジネス・福祉系の科目等、地域産業に関わる専門科目や学校設定科目などを選択する「産業マイスター系列」があります。

選抜において重視する要件
(総合学科) ○ 志望動機が明確で、高校生活にしっかりとした目標・目的意識をもった者 ○ 学習活動や資格取得に積極的に取り組む者 ○ スポーツ活動や文化活動、生徒会活動、ボランティア活動または地域に密着した活動等に意欲的に取り組む者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
総合学科	面 接	個人面接（１０分程度） 本校の「選抜において重視する要件」に関することを中心に応答する。
	学力検査	国語

学 科 名	選 抜 方 法
総合学科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。 評定（第3学年の各教科の評定の合計） 4 5 点満点 評定以外の記載事項 最高 1 0 点 合 計 5 5 点 (2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (3) 学力検査 5 0 点（国語）
	2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 面接の評価がC段階以上である者のうち、調査書得点の順位が募集人数の1 0 0 %以内であることと、学力検査得点の順位が募集人数の8 0 %以内であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 第1段階で合格となった者を除く全ての受検者

定時制課程

《四日市工業高等学校》

学 校 の 特 色
機械交通工学科（定員４０人）、住システム工学科（定員４０人）の２学科で、それぞれ学科別に募集します。１年次は普通教科と工業に関する基礎に重点を置いて学習します。２年次から、機械交通工学科では「機械コース」・「自動車コース」、住システム工学科では「電気コース」・「建築コース」の中から自分に適したコースを選択し、各コースに分かれて専門的な学習をします。どの学科・コースにおいても工業に関する各種の資格取得が可能です。

選抜において重視する要件
〔機械交通工学科、住システム工学科共通〕 ○ 定時制工業高等学校で学習することに強い意欲を有し、目的意識が明確かつ学校生活を適正に行える者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
機械交通 工学科	面 接	個人面接（１５～２０分程度） 工業に関する興味・関心、意欲等について応答する。
住システム 工学科	実技検査	１０分程度 中学校技術・家庭（技術分野）に係る知識と技能を問う作業

学 科 名	選 抜 方 法
機械交通 工学科 住システム 工学科	１ 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。（第１～３学年の各教科の評定の合計 １３５点満点） (2) 面 接 Ａ、Ｂ、Ｃの３段階で評価する。 (3) 実技検査 Ａ、Ｂ、Ｃの３段階で評価する。 ２ 選抜方法 (1)～(3)のうち、特に(2)の結果を重視し、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《北星高等学校》

学 校 の 特 色
学校として弾力的なカリキュラムを設定し、生徒一人ひとりの持ち味を生かした「あなたならではの学び」をつくりだせるように支援します。 また、社会に出て自立できる力を身につけられるように支援します。 ○ 単位制・三修制 学年制ではないので、必修科目を含めて74単位以上の履修・修得で卒業できます。他部履修や通信制科目の併修により、3年間での卒業が可能です。 ○ 昼間部（午前部、午後部）、夜間部の三部制 午前部、午後部、夜間部のいずれかに所属して授業を受けます。 ○ 総合選択制 定時制には、普通科と情報ビジネス科がありますが、両学科の科目を履修することができます。情報ビジネス科の指定された科目を履修、修得できた場合は、情報ビジネス科の卒業となります。 ○ 特徴のある科目 基礎学習のできるステップ科目や、ライフマナー、星座とギリシャ神話などの学校設定科目により、学びたい気持ちを大切に育てます。

選抜において重視する要件
〔普通科（昼間部）、情報ビジネス科（昼間部）、普通科（夜間部）共通〕 ○ 夢の実現をめざし、本校の特色をよく理解し、本校で学び成長する意欲がある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科 （昼間部） 情報ビジネス科 （昼間部） 普 通 科 （夜間部）	自己表現	自己表現（2分）＋個人面接（5分程度） 「自己表現」は、事前課題に基づき、各自が準備した内容を発表する。ただし、準備物等の持ち込みは不可とする。

学 科 名	選 抜 方 法
普 通 科 （昼間部） 情報ビジネス科 （昼間部） 普 通 科 （夜間部）	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化せず、選抜において資料とする。 (2) 自己表現 次の①、②の点数を合計する。 ① 自己表現の部分は、次の5つの項目について評価し、点数化する。(60点満点) ・ 課題との整合性 ・ 表現力（発表時間を含む。） ・ 具体性 ・ 意欲 ・ 独創性 ② 個人面接の部分は、次の4つの項目について評価し、点数化する。(90点満点) ・ 本校（定時制課程）についての理解 ・ 志望の動機、目的意識 ・ 高校生活に対する意欲・向上心 ・ 面接態度 2 選抜方法 (2)の自己表現による点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載内容を考慮して総合的に選抜する。

《飯野高等学校》

学 校 の 特 色	
充実した多文化共生教育やキャリア教育等をととして、多様な学習ニーズを有する生徒たちが、自信と誇りをもって社会で生きる力を養成します。また、生徒たちが将来、社会の構成員として生活し、これからの新しい社会を創造していく力を育みます。	
○ 複合型定時制システム	夜間定時制課程ですが、生徒の生活状況に合わせた履修ができるようにⅠ部（15:50～19:25）、Ⅱ部（17:35～21:10）の学習時間帯を設置しています。
○ 全日制・定時制相互履修	全日制・定時制双方に共通する学習ニーズに対応するため、定時制生徒は全日制5・6限設置の学校設定科目を、全日制生徒は定時制1・2限設置の学校設定科目を履修することができます。
○ 単位制	生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望等に応じた自由な科目選択が可能です。
○ 二学期制	9月卒業が可能なように学期毎の単位認定を行います。
○ 三年修業制	北星高校の通信制課程の科目を履修することなど多様な学びの形態を取り入れることにより、3年間で卒業も可能にします。
○ 少人数の学級編成	各学年を少人数に分割して学級編成を行います。

選抜において重視する要件
（普通科） ○ 本校の特色をよく理解し、目的意識が明確で学習意欲があり、かつ学校生活を適正に行うことのできる者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	面 接	個人面接（10分程度） 志望動機、意欲・関心等について応答する。
	作 文	45分・800字以内

学 科 名	選 抜 方 法
普 通 科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化せず、選抜において資料とする。 (2) 面 接 次の4つの項目について評価し、点数化する。（65点満点） ・ 本校（定時制課程）についての理解 ・ 志望動機、目的意識 ・ 学習に対する関心・意欲 ・ 面接態度 (3) 作 文 次の2つの項目について評価し、点数化する。（35点満点） ・ 述べられている内容 ・ 表現（字数、漢字等の表記）の的確さ、明瞭さ
	2 選抜方法 (2)と(3)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《みえ夢学園高等学校》

学 校 の 特 色	
自分を見つめ、夢の実現に向けてチャレンジできる生徒が育つ学校	
1	普通科と専門学科の内容を併せもつ総合学科です。
2	自分の学びたい科目を選択し、自分独自の時間割を作成して学習できる単位制の学校です。
3	個性を生かした少人数教育を重視しています。
4	生徒は、午前の部・午後の部・夜間部のどれかの部に所属します。
5	授業は、午前の部・午後の部・夜間部とも各4時間です。
6	他の部の授業をあわせて履修することにより、3年間で卒業することもできます。
7	午前の部・午後の部・夜間部に、それぞれ特色ある3つの系列があります。

選抜において重視する要件
(総合学科) ○ 総合学科の教育内容に対する強い興味・関心と、しっかりとした目的・目標をもって積極的に学ぼうとする意志のある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
総合学科 (午前の部) (午後の部) (夜間部)	面 接	個人面接(15分程度) 志望動機、将来の目標等について応答する。
	作 文	45分・600字程度
	総合問題	45分(国語・社会・数学・理科・英語の各分野から総合的に出題する。)

学 科 名	選 抜 方 法
総合学科 (午前の部) (午後の部) (夜間部)	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。(第1～3学年の各教科の評定を換算 20点満点) (2) 面 接 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (3) 作 文 A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 (4) 総合問題 30点
	2 選抜方法 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。 (1) 第1段階 面接と作文の評価がともにB段階以上である者のうち、調査書得点の順位が募集人数の100%以内であることと、総合問題得点の順位が募集人数の100%以内であることの両方の条件を満たす者 (2) 第2段階 面接と作文の評価がともにB段階以上である者のうち、調査書得点の順位が募集人数の100%以内であることと、総合問題得点の順位が募集人数の100%以内であることのいずれかの条件を満たす者 (3) 第3段階 面接と作文の評価がともにC段階以上である者のうち、調査書得点の順位が募集人数の30%以内であることと、総合問題得点の順位が募集人数の30%以内であることの両方の条件を満たす者 (4) 第4段階 第1段階、第2段階及び第3段階で合格となった者を除く全ての受検者

《松阪工業高等学校》

学 校 の 特 色
多様な教育的ニーズに対応し、地域とともにある学校 ○ 本校の定時制は普通科です。 ○ 中学校までの学習内容を含めて、基礎・基本を重視した授業を行うことで基礎学力の向上を目指しています。 ○ 少人数での習熟度別学習を行っている教科もあり、それぞれのレベルに応じて自分の力を伸ばすことができます。 ○ 本校のカリキュラムは、４年間で卒業できるように編成されていますが、松阪高等学校通信制課程との併修をすることで、３年間で卒業することも可能です。

選抜において重視する要件
(普通科) ○ 本校の特色をよく理解し、明確な目的意識を持って積極的に学ぼうとする意志を持ち、学校生活を適正に行える者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	面 接	個人面接（１０分程度） 志望動機、意欲・関心等について応答する。
	作 文	４５分・６００字程度

学 科 名	選 抜 方 法
普 通 科	１ 選抜資料の取扱い (1) 調査書 点数化せず、選抜において資料とする。 (2) 面 接 次の項目について評価し、点数化する（６０点満点） ・ 本校（定時制課程）についての理解 ・ 志望動機、目的意識 ・ 学習に対する意欲・関心 ・ 面接態度 (3) 作 文 次の項目について評価し、点数化する。（４０点満点） ・ 述べられている内容 ・ 表現（字数、漢字等の表記等）、構成の的確さ、明瞭さ
	２ 選抜方法 (2)と(3)の合計点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。

《伊勢まなび高等学校》

学 校 の 特 色	
○ 三部制	午前の部・午後の部・夜間部のいずれかの部に所属し、1日4限の授業を受けることを基本とします。
○ 三修制	自分の所属する部の授業以外に他の部の授業を受けることにより、3年間で卒業の資格を得ることが可能です。
○ 単位制	各科目の履修条件に従って選択受講し、必修科目と選択科目を併せて74単位以上修得すれば卒業することができます。
○ 多様な選択科目	伊勢まなび高校独自の学校設定科目などを含め、多くの選択科目を設けています。午前の部・午後の部は普通科ですが、ものづくり工学科の授業（午後の部・夜間部で開講）を選択することもできます。
○ 学校外の学修の単位認定	高等学校卒業程度認定試験合格や実務代替、技能審査に関する学修などを、卒業に必要な単位数に加えることができます。

選抜において重視する要件
〔普通科（午前の部・午後の部）、ものづくり工学科（夜間部）共通〕
○ 目的意識が明確で、学習意欲があり、自主性を有し、かつ本校での学校生活を適正に行える者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科 （午前の部） （午後の部）	面 接	個人面接（15分程度） 志望の動機、目的意識、意欲・関心等について応答する。
ものづくり 工学科 （夜間部）	作 文	45分・400字以内

学 科 名	選 抜 方 法
普 通 科 (午前の部) (午後の部) ものづくり 工学科 (夜間部)	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化する。 評定（第1～3学年の各教科の評定を換算） 3 0 点満点 特別活動の実績 最高 1 0 点 合 計 4 0 点 (2) 面 接 次の3つの項目について評価し、点数化する。（4 5 点満点） ・ 興味・関心・理解（志望動機など） ・ 意欲（積極性など） ・ 態度（言葉遣いなど） (3) 作 文 次の3つの項目について評価し、点数化する。（3 0 点満点） ・ 述べられている内容 ・ 表現（漢字等の表記）の的確さ、明瞭さ ・ 文章の構成 2 選抜方法 (1)～(3)の合計点数をもとに、調査書、「自己推薦書」の記載を考慮して総合的に選抜する。

通信制課程

《北星高等学校》

学 校 の 特 色
学校として弾力的なカリキュラムを設定し、生徒一人ひとりの持ち味を生かした「あなたならではの学び」をつくりだせるように支援します。 また、社会に出て自立できる力を身につけられるように支援します。 ○ 面接指導（スクーリング） 日曜・木曜コースが設定されています。事情により自分のコースに出席できないときは、別のコースへ出席することもできます。また、火曜日は誰でも出席することが可能です。 ○ 単位制・三修制 選択科目は自由に選んで学習することができます。学年はありません。必履修科目も含めて74単位以上修得すれば、3年間で卒業も可能です。 ○ 特徴ある科目 「韓国語」など、多様な学校設定科目を選択科目として選べます。

選抜において重視する要件
（普通科） ○ 夢の実現をめざし、通信制の特色をよく理解し、本校で学び成長する意欲がある者

学 科 名	検 査	実 施 概 要
普 通 科	自己表現	自己表現（2分）＋個人面接（5分程度） 「自己表現」は、事前課題に基づき、各自が準備した内容を発表する。ただし、準備物等の持ち込みは不可とする。

学 科 名	選 抜 方 法
普 通 科	1 選抜資料の取扱い (1) 調 査 書 点数化せず、選抜において資料とする。 (2) 自己表現 次の①、②の点数を合計する。 ① 自己表現の部分は、次の5つの項目について評価し、点数化する。(60点満点) ・ 課題との整合性 ・ 表現力（発表時間を含む） ・ 具体性 ・ 意欲 ・ 独創性 ② 個人面接の部分は、次の4つの項目について評価し、点数化する。(90点満点) ・ 本校（通信制課程）についての理解 ・ 志望の動機、目的意識 ・ 高校生活に対する意欲・向上心 ・ 面接態度 2 選抜方法 (2)の自己表現による点数をもとに、調査書及び「自己推薦書」の記載内容を考慮して総合的に選抜する。